

2020年7月15日発行(毎月15日発行)
1987年3月23日第3種郵便物認可
ISSN 1880-4993

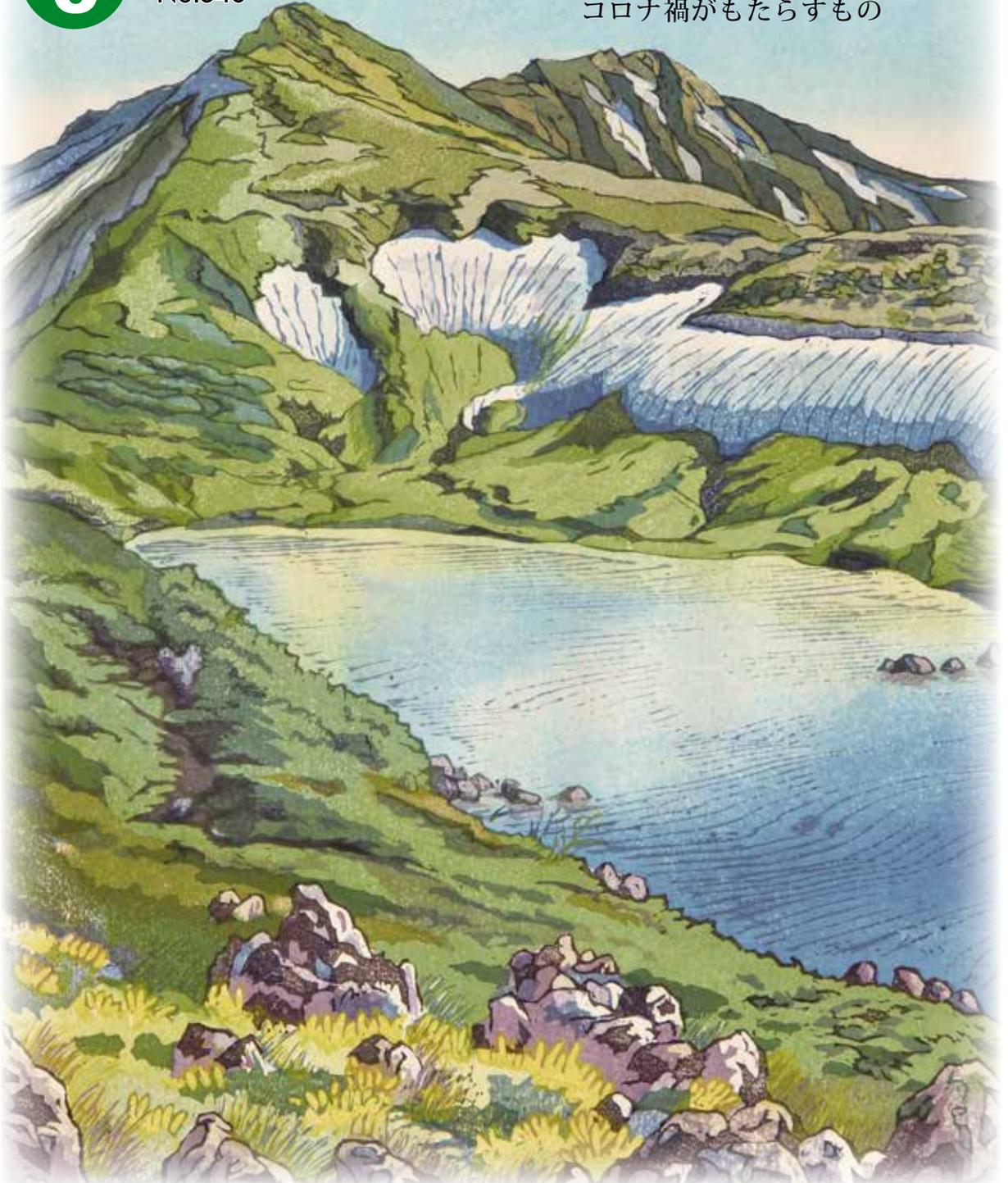
登山時報

 日本勤労者山岳連盟

8

2020
No.546

雲海の山 縦沢岳・甲斐駒ヶ岳
コロナ禍がもたらすもの



山筋ゴーゴー体操

生涯登山をめざして

石田良恵 監修

日本勤労者山岳連盟女性委員会編

A5判48ページ

2017年4月改訂版第2版発行



頒価 200円 (+送料)

※20冊以上まとめれば送料無料

登山に必要な体力の維持管理に
筋トレをはじめてみませんか?
◎全国連盟取り扱いのテキスト・書籍



いつまでも山に登れる

山筋ゴーゴー体操

DVD付き A5判 96ページ

石田良恵 著

桐書房 2014年7月刊

労山価格 1,000円 (+送料 一冊 90円)

※定価 1,620円 (税込み) のところ、特別提供します

書名・部数・団体名・送付先を明記して、メールまたはFAXで全国連盟事務局へお申し込みください。

メール jwaf@jwaf.jp FAX 03-3235-4324

雲海
の山

北アルプス・縦沢岳 (2755 m)

雨・風・寒さとのたたかい
そして感動の絶景へ

棚橋久明 大垣勤労者山岳会

縦沢岳
2754 m

激しい雨で川と化す登山道

朝6時すぎに新穂高に着いた頃には雨は一旦止んでいた。出発の準備をしているとパラパラと降り出し、中崎橋手前からは本降り。小池新道以降は、登山道が川と化していた。秩父沢出合からシシウドヶ原へ進む途中、雨による気温低下と段差の急な登山道で、足がつりかけた者の荷物を各メンバーに分散。なんとか鏡平



山荘に着いた。

鏡平山荘で温かい飲み物を頂き、体を温めて出発。雨が激しく降る中、双六小屋になだれ込む。雨と強風でテント泊を断念し全員小屋泊まりとした。メンバー6人で一部屋を独占。快適な宿泊となった。

雨上がりに、雷鳥、 素晴らしい眺望、虹、 ブロッケン現象に出会う

翌朝まで雨が降り通しで、止まない。本日のコースタイムを考えると10時がタイムリミットだ。9時頃には降雨確率0%とのTVの天気予報を信じ、出発の準備をして、談話室で待っている。雨が小降りとなったので出発する。が、視界は効かない。三俣山荘までは、最短の双六岳巻き道ルートで向かう。雨は小降りになったが視界はなく、寒さで震えるなか三俣山荘に着いた。ここで温かい飲み物を飲んでいると雨がほぼ止んだ。

これ幸いと鷲羽岳へと向かう

が、上に行くほど強風が吹き、油断すると飛ばされそうになる。が、強風が追い風のように体を押し上げてくれるので、思ったより楽に山頂に着いた。残念ながら鷲羽岳の山頂からは何も見えず、すぐさま下山する。下山は当然のことながら向かい風だ。バランスに気を使い、三俣山荘まで下った。山荘で休憩していると上空の雲が取れてきて、槍ヶ岳や先ほど登った鷲羽岳が見えてきた。

天気が回復してきたので、少し時間はかかるが、双六岳稜線ルートを選択。三俣蓮華岳からは強風で雲が流れ、視界が良くなってきた。稜線を双六岳に向



雷鳥も顔を見せてくれた



双六岳からの下山中、半円のブロッケン現象を見る

けて歩いてみると、幸運にも雷鳥が出てきて我々を先導。まさに雷の鳥だ。このような天気の時によく出てくるらしい。

双六岳山頂からの眺望は、鷲羽岳・水晶岳がはっきりと確認でき、正面には槍ヶ岳や穂高連峰、燕岳・大天井岳の他に笠ヶ岳や薬師岳と大パノラマだ。双六岳

からの降りが今回のハイライトだった。前方に槍ヶ岳を見ながら降るルートはなんと絵になる光景か。さらに、雨上がりで前方に虹が見えたと思ったら、ブロッケン妖怪が現れた。なんと幸運なのか。きつと強風と雨、寒さに耐えたご褒美だったのか。テント泊組の中で小宴会。早

めに切り上げて、テント泊組と小屋泊組に分かれて就寝した(テント泊組は寒さで熟睡できなかったようだ)。

日の出を樺沢岳頂上で迎える

翌日、天気良きそうなので樺沢岳からの日の出を見ようと、まだ暗い中ヘッドランプを点けて出発。頂上には既に二人が暗い中、カメラを三脚に設置し準備万端。しかし寒い。

そうこうするうちに薄明るくなってきた。前方の西鎌尾根を見ると、雲が稜線を境に登り下っている。滝雲だ。さらには、朝焼けに染まった槍ヶ岳が。言葉が出ない。が寒いので後ろ髪をひかれながら下山した。テントを撤収し下山。弓折乗越までは、鷲羽岳の雄大な景色を見ながらのんびり進んだ。鏡池では逆さ槍が見えた。風もなく池面に波が立たない天気の良い日にしか見ることができないので、運が良かった。ここでの集合写真は

いい思い出となった。その後は、少し暑さも増してきて時々現れるガレ場を慎重に歩いて小池新道入口まで下山。その後も長い林道とアスファルトの道を歩き登山口ゲートまで戻った。



鏡池に映る逆さ槍を背景に記念写真

2016年10月8日(土)～10月10日(月)
 10/8 6:40 新穂高温泉口～7:50 わさび平小屋
 8:00～11:50 鏡平 12:30～15:00 双六小屋泊
 10/9 8:30 双六小屋～10:40 三俣山荘 11:10
 ～12:05 鷲羽岳 12:15～12:50 三俣山荘
 13:25～14:10 三俣蓮華岳～15:30 双六岳
 15:50～16:30 双六小屋泊
 10/10 4:40 双六小屋～5:10 樺沢岳 5:50～6:10
 双六小屋 07:10～9:15 鏡平 9:35～12:20
 わさび平小屋 12:35～13:30 新穂高温泉口

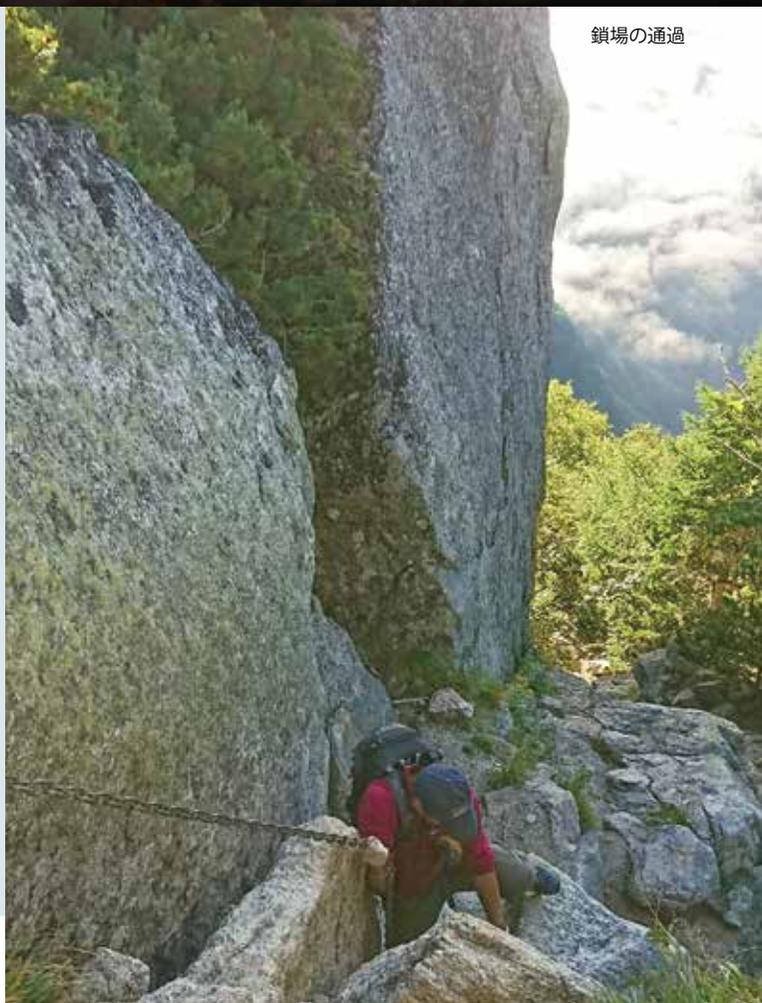
パーティ：神野、澤頭、酒井、棚橋、北川、石原

南アルプス・甲斐駒ヶ岳 (2967 m)

鎖場・岩場のある黒戸尾根から

山岡光昭 滋賀山友会

鎖場の通過



9月13日、20:00に前田さん、川口さんと合流し、満月の灯りに導かれながら順調に進み中央道・小淵沢ICを降りて、1:00「道の駅はくしゅう」で仮眠する。

翌日は、絶好の登山日和となった。竹宇駒ヶ岳神社で手を合わせてから吊り橋を渡り、登山道へと入って行く。しばらく進むとサル群れの遭遇、群れのリーダーが若いサルを叱っているよ

うな声を上げている。私は前田さんに叱られまいと気を引き締める。

休憩をこまめにとりながら歩を進め、「刃渡り」と呼ばれる所で展望が開けて、富士山の頭を見る事ができた。鎖場・梯子も慎重に危なげなく登り続けて、無事に七丈小屋に到着する。到着後は、ビールとおかきで乾杯。山小屋には、「山岳医療パトロー



夕日と雲海

ル」のドクターと看護師がおられて、食事の時間にミニレクチャーをしてくださった。山小屋併設の診療所が無い所を中心に回っておられるということだ。小屋は今シーズン最高の客入りだそう、ギューギュー詰め、暑くて寝苦しい程だった。

最終日の9月15日、この日も絶好の登山日和だ。ご来光は八合目手前で見るようになったが、



富士山遠望



山頂の祠

- 2019年9月13(金)夜 滋賀県発～9月15日(日)
- 9/14 6:30 尾白溪谷駐車場発～8:25 横手・白須谷分岐～10:00 刀利天狗～12:00 五合目小屋跡～13:20 七丈小屋
 - 9/15 5:00 七丈小屋～5:55 八合目ご来光場～7:20 甲斐駒ヶ岳(朝食、休憩) 8:30～10:00 七丈小屋～14:30 尾白溪谷駐車場
- パーティ：前田(CL)、川口、山岡(記録)

それでもとても素晴らしかった。山頂手前で有名な登山犬「茶々丸」と遭遇する。山頂には昨日の山岳医の方がおられて脈拍等を看ていただいた。山頂は雲一つ無い快晴で、富士山や北アルプス、中央アルプス、八ヶ岳など360度の大パノラマを十分に堪能してから下山開始。最後は膝が震え、踵の皮がめくられて前田さんと川口さんに迷惑をお掛けした。無事に下山した後はお風呂に入ってスッキリする。遅めの昼食を諏訪湖SAで摂って、無事に滋賀へ帰ることができた。

尾瀬笠科川 小赤沢〜横田代

明るく、 きれいなナメ

館野健司 銀座山の会／東京



新人のお試しに最適
源頭ではお楽しみも

尾瀬周辺には明るく、初心者向きの日帰りで楽しめる沢が沢山ある。小淵沢・引上悪沢・大薙沢等、お奨めの沢は多々あるが、ここでは笠科川の枝沢、小赤沢を紹介する。

がなければ新人のお試しに最適なんだが…？ でもガツカリするのはまだ早い。季節を選べば、藪漕ぎもまた楽しからずや。

私のお奨めは何といっても6月中旬。ご存知の方はもうお分かりだと思うが、源頭の膨大なネマガリダケの海は藪漕ぎで、確かに厄介そのものだが、この時期に限っては収穫最盛期。天ぷらにしてよし、みそ汁でも最高、焼いて食べたなら幸せの絶頂となる。山菜の王様！「ネマガリダケ」が採り放題。何しろフィールドは広大（これを「辺り一面藪だらけ」と言うが…）とにかくいくらでも簡単に採れる。そして、人は収穫物があると気持ちも性格もやる気も変わってくる。

小赤沢の良いところは、まずアプローチがゼロ、下山がわずか30〜40分！そして、肝心の沢は明るくきれいなナメやナメ滝が次々と現われ難しい場所もなく快適そのもの！とここまででは初心者にとつて100点満点！

ただ唯一の欠点がある。それは、源頭で本格的な藪漕ぎが30〜40分（ルートファインディングが悪いと1時間近く彷徨する場合も…）。これ

ただ唯一の欠点がある。それは、源頭で本格的な藪漕ぎが30〜40分（ルートファインディングが悪いと1時間近く彷徨する場合も…）。これ

さらに、この時期はツツジや水芭蕉、シラネアオイなど可憐な花が咲き誇り、辺りの萌えるような新緑と共に躍動感あふれる初夏の沢を楽しめ、新人に沢



ナメ滝で扇!!



横田代

登りの楽しさを教える「お試し山行」に絶好の沢である。

入渓点は笠科川本流を渡渉

では大まかなポイントを紹介する。アプローチは、戸倉から鳩待峠方面に途中下車ができるタクシーか乗り合いのマイクロバスを利用する。小赤沢出合付近で降りしてもらおうのだが、ボートとしてしていると津名木橋まで行ってしまうので、GPSなどで出合をしっかりと確認しよう。

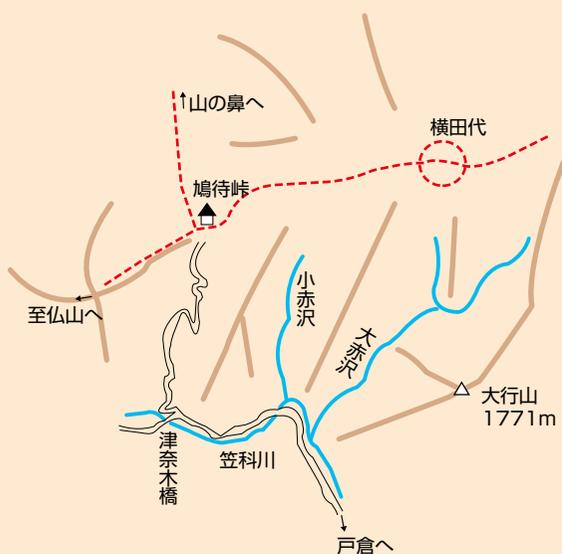
入渓は笠科川に降りられる場所です。本流増水時の渡渉は注意が必要だ。遡行後、30分くらいは荒れた雰囲気。渓相だが、4mのハングした滝を巻くとだんだん溪相が良くなる。新緑にツツジが映え、美しいナメとナメ滝の連続に心が躍る。やがて20mの大滝! この小溪のハイライト。左岸から簡単に巻けるが、ここは水芭蕉が咲く滑りやすい泥の急斜面もあり、高さもあるので初

心者には念のためにロープを出した方が良さそう。さらに美しいナメとナメ滝が続き、やがて沢の傾斜が落ちてくると膨大なネマガリダケの海に突入する。通常の沢の詰めと違って、広い地形なので、しっかりと方向を確認して進もう。適当に詰めること1時間以上彷徨することになるので、ここは真剣に地図読みをやりたい。

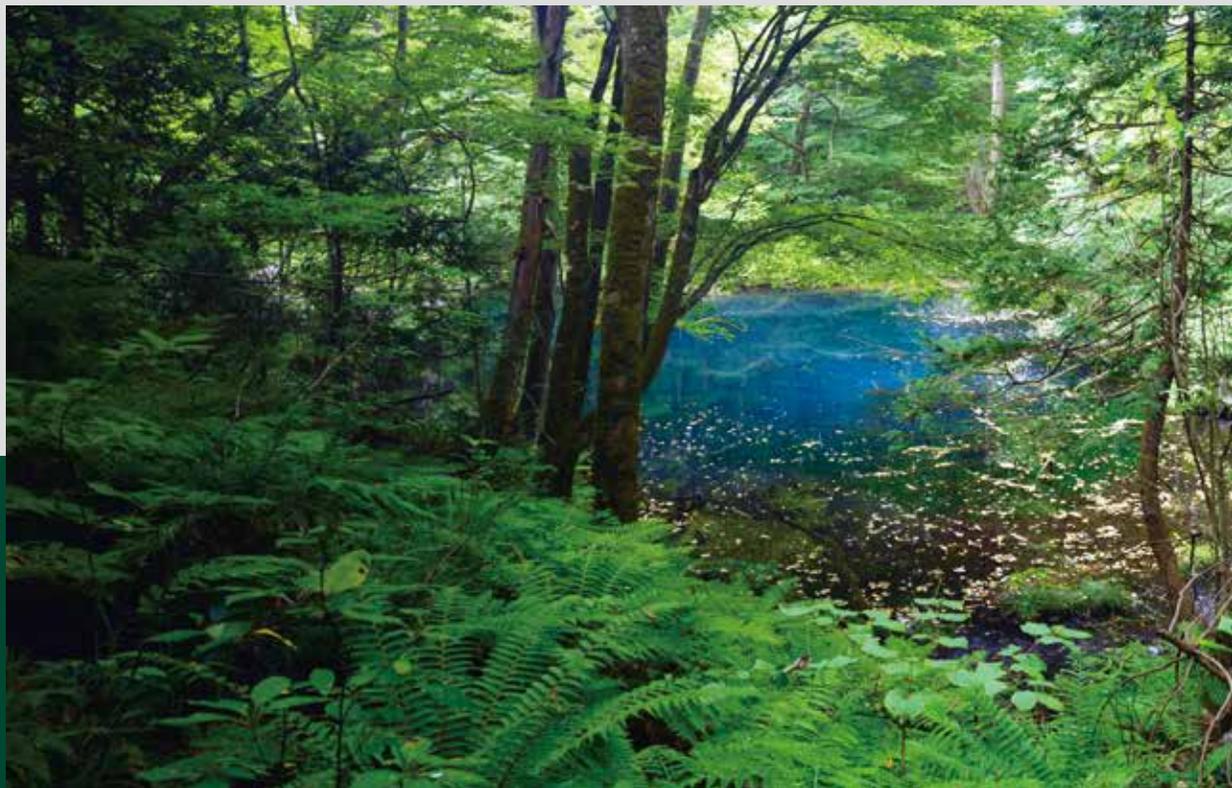
登山道に出たらぜひ右方向の横田代を見に行こう。

横田代は広大な湿原で、至仏山が眼前に望め、この時期は水芭蕉やワタスゲ、チングルマなど咲き誇っている。下山は膝に優しい歩きやすい道をスタスタと30〜40分で鳩待峠へ。

◎コースタイム (初心者含む6人パーティーの場合)
 入渓〜 (2時間〜2時間半)
 大滝〜 (2時間 途中、タケノコ狩りタイム有り)
 登山道〜 (20分) 横田代〜 (30分〜40分) 鳩待峠



小赤沢のナメ



原田勇成の

白神便り

| 第36回 |

十二湖案内

春5月のエゾハルゼミに始まり、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、アブラゼミと賑やかなセミたちの合唱も、8月下旬ともなれば、主役はヒグラシが務める。夏休みも終わり、トレッキングを楽しむ人もめっきり減った白神山地十二湖の森に、物寂しげに鳴くヒグラシ。真夏のじっとりとした空気は既になく、どこか懐かしい夕方近くの雰囲気漂っている。

そう、これまでこの小径を何度歩いただろう。それは撮影はもちろん、ガイドとしてだったり、家族とだったり。「青池」が特別有名になっているが、写真の「沸壺の池」も青池に負けず劣らず美しい青色を湛えている。この池以外にも「長池」の一部、さらに「小夜の池」も青く美しい存在である。

十二湖と言われるエリアは意外と広く、すべての池を巡るには丸一日かかる（名前のある池が33、名前のない池も数え方にもよるが、4つある）。全てが違う良さを秘めている。

国道1001号線の（五能線）十二湖駅から歩いて1時間弱で鬱蒼とした森の中へ。これほど人里近くに、これほど発達したブナの森が残る楽園はそうはないだろう。広い白神山地の西の端。日本海の波打ち際から徒歩1時間。昔からあるべきものがそのまま残る貴重な森。新型コロナウイルスの影響で観光される人々は激減。それは何処も同じだろうが、せめてヒグラシが鳴く頃には、再び子供たちの声がブナの森にこだまさないだろうか。切なる願い。

登山時報

8 AUGUST.2020
No546

CONTENTS

- | | | |
|----|----------------------------------|--------------|
| 01 | 雲海の山
北アルプス・縦沢岳
南アルプス・甲斐駒ヶ岳 | 棚橋久明
山岡光昭 |
| 06 | 尾瀬・笠科川 小赤沢～横田代 | 館野健司 |
| 08 | 連載 白神便り | 原田勇成 |
| 10 | ふみあと | 浦添嘉徳 |
| 11 | 今シーズン山小屋異常事態 登山計画時には注意を | |
| 12 | コロナ禍がもたらすもの | 伊藤二郎 |
| 16 | 連載 北海道の山と谷 | 殿平厚彦 |
| 18 | 連載 無くしたい行方不明・死亡事故シリーズ | 北島英明 |
| 20 | 連載 労山創立 60 周年に寄せて | 西本武志 |
| 22 | 連載 アドベンチャー・トラベル | 大蔵喜福 |
| 24 | 連載 山登りのための やさしい気象講座 | 野尻英一 |
| 26 | ブックエンド | |
| 28 | 連載 子づれ山さんぽ | 武井真理 |
| 29 | 全国連盟の活動 | |
| 30 | 専門委員会活動報告 | |
| 32 | マンガ フウフウハアハア | 村松孝一 |
| 33 | 連載 中国の青いケシ探訪記 | 松永秀和 |
| 34 | 連載 NO LIMIT 限りなき山行 | 近藤和美 |
| 36 | 連載 地図読み迷人 宮内佐季子 小泉成行 監修：村越真 | |
| 38 | 地元会員特選ミニガイド 盤の沢山（道央） | 鈴木暢 |
| 39 | 筑井孝子のちょっと絵をうまく描こう / あらかると | 石井光造 |
| 40 | 連載 オススメ山道具 夏の帽子 | 笹原芳樹 |



表紙の木版画 杉山修
「白馬大池盛夏」

これほどの高山に、これほどの大きな湖が存在するとは、大自然はおもしろい。
白馬乗鞍岳は紛れもなく火山である。
白馬の山麓からは想像もできない大池である。
山頂から巨岩が累積する斜面を降りてゆくと、そこは湖畔の穏やかな草原が広がる別天地となる。



「登山時報」はリサイクル可能なソイインク
(大豆油インク)を使用しています。

新型コロナウイルス禍の登山形態を考える

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言は全面解除されたが、第2波などが予想される中、安心・安全な登山を楽しむため、新たな登山形態が求められている。

山岳4団体は、「『自粛』要請解除後の登山・スポーツクライミング活動ガイドラインに「感染させない、感染しないために」を発表し、登山者に協力を呼びかけた。これは、基本的な指針であり、詳細は自治体や所属の登山団体・会クラブのガイドライン等を参考にした登山形態が必要である。

新型コロナウイルスは、予防ワクチンもなく決定的な治療薬もない中、登山者への感

染のリスクは常に存在し、登山愛好者の仲間への相互感染を防ぐための対策をとった登山形態が必要である。

体調がすぐれない場合の登山は直ちに中止すること。長い間の自粛要請の中で体力に自信がない場合は、近隣の里山や低山で身近な自然の魅力を探索する日帰り登山を楽しむことも山歩き感覚を取り戻すために有効である。

山小屋の閉鎖の問題や登山路が荒れている場合がある中で、登山路や山小屋・テント場などの詳しい情報を入手し、リスクの少ない綿密な登山計画を立てることが重要。

これまでの登山の装備の他にも、①消毒液を携帯し手指

の消毒をこまめに行う、②登山者との必要な間隔を保てる場合は、マスクの着用は必要ないが、マスク・手ぬぐい等は必ず携行し他の登山者とすれ違うときに挨拶・会話をする場合は、マスクの着用、手ぬぐいで鼻や口を覆う、③山小屋に宿泊する場合、マスクを着用し、手指の消毒を心掛け、できれば、寝袋・インナーカバー、枕カバーを持参することも必要な場合もある。これらは、テント泊でも同様である。

登山する山の状況は地域によって異なる。所属する山岳団体で4団体の指針を参考に、ルールやエチケットをつ

(浦添嘉徳／日本勤労者山岳連盟 理事長)

今シーズン山小屋異常事態 登山計画時には注意を

登山道閉鎖もある北アの小屋
コロナウイルス感染症によってこの夏山は大きく様変わりしている。都市部での感染対策すら厳しい状況の中、物資の供給や水の補充が自由にできない山小屋は、さらに厳しい対策を求められている。

特に顕著な例として、北アルプス後立

山連峰の白馬鐘温泉小屋が挙げられる。この小屋は白馬岳から唐松岳縦走路・鐘ヶ岳2903mの山頂近くから、登山口・猿倉への下山道の途中にあり、豊かな温泉小屋として有名。縦走での疲労を癒し、3時間余りでバスの来る猿倉まで下山できる。多くの登山者が後立山での楽しみのひとつとして登山計画に組み込む山小屋だ。しかし、今年「感染対策が不可能」という経営者の判断

で休業。同時に、稜線からの下山道も白馬村と協議し、閉鎖するとしている。

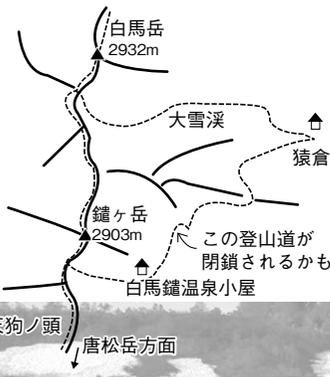
信濃毎日新聞社が長野県内・県境の山小屋の営業予定を調査

このような現状の中、信濃毎日新聞社は長野県内・県境で営業する山小屋の実態調査を行い、5月29日朝刊に二面にわたり発表した。それによると、北アルプスでは「営業しない・未定」が52軒中10軒、中央アルプス「同」が9軒中5軒、南アルプス「同」6軒中1軒、八ヶ岳「同」24軒中8軒となっている（完全に休業する山小屋は別表の通り）。

地方から山小屋を「何とか応援したい」という声寄せられた。全国連盟は5月の全国理事会で、以下の二つのクラウドファンディングへの協力を確認した。「#山小屋支援プロジェクト・YAMAP」と「山小屋エイド基金・山と渓谷社」である。

山小屋泊・テント泊は必ず予約を

今シーズンは多くの山小屋が事前予約の徹底を訴えている。宿泊者数を50%減らし、使い捨てシートを利用するなどの工夫と共に、登山者にも「マスク・消毒液・体温計」などの持参を呼び掛けるとともに、ありえないことだが「複数の山小屋への予約」(ダブルブッキング)も止めるようお願いしている。今シーズンは新しいスタイルの登山が求められるといえるのではないだろうか。
(本誌・田上千俊)



白馬鐘温泉小屋の今シーズン休業に伴い、周辺の登山道が閉鎖される可能性がある (写真提供: 白馬鐘温泉小屋)

のため、いくつかの組織がクラウドファンディングを行っている。労山全国連盟にも、多くの

今シーズン休業する予定の山小屋 (信濃毎日新聞2020年5月29日朝刊より)

北ア	白馬尻小屋
	白馬鐘温泉小屋
	新越山荘
中央	西駒山荘
	玉乃窪山荘
南ア	空木駒峰ヒュッテ
	こもれび山荘
八ヶ岳	大平山荘
	仙丈小屋
	塩見小屋
	馬の背ヒュッテ
	赤岳頂上山荘
ハケ岳	行者小屋
	赤岳鉱泉
	キレット小屋
	権現小屋
	ヒュッテ夏沢

コロナ禍がもたらすもの

伊藤 二朗



雲ノ平山荘経営者
1981年東京生まれ。幼少より黒部源流で夏を過ごす。2002年に父正一が経営する雲ノ平山荘の支配人になる。2010年日本の在来工法をもちいた新しい雲ノ平山荘の建設を主導。2019年夏「登山文化の危機！山小屋ヘリコプター問題」を発信して議論を起こした。雑誌PEAKSで「山と僕たちを巡る話」を連載中。

コロナ禍における山小屋についての原稿依頼であったが、あえて一步引いた視点で見たいと思う。コロナ禍は純粹に疫学的な問題であり、山小屋は社会的に合意されている危機管理策を踏襲する立場にあつて、コロナ対策に焦点を絞れば、案外に固有の要素は少ない（詳細は山荘Webサイト kumonodaira.com を参照してもらいたい）。

一方、コロナ禍が山小屋文化に及ぼす影響を考えると、それはすでに顕在化しつつあつた様々な問題の加速化・深刻化をもたらすと思う。問題の根底にあるのは、日本における自然環境政策（国立公園）のステータス及びプライオリティの低さである。

今回はそれを踏まえて登山文化をとりまく社会的な背景を考察してみたい。

自然保護思想と国立公園

そもそも、自然保護思想や国立公園制度、アウトドアレクリエーションの発想自体が「基本的な人権」の問題であることをどれだけの人が意識しているだろう。

コロナ禍により、むしろ山岳団体の側から「登山は不要不急、趣味や娯楽」なので迷惑をかけないように自粛するべきだ、という言葉説を科学的な裏付けも乏しいまま流布しているのを見ると、日本ではそうした権利の意識は希薄である（Webサイ

ト内「登山自粛論」参照）。

病気への警戒は当然必要だが、実質的に様々な社会活動が制限され、鎖国状態にある現状でこそ、足元の大自然は大きな希望ではないだろうか。

世界を見渡せば、自然保護やアウトドアスポーツも人々が命がけで勝ち取った権利である。権利を手放す時には、慎重にならなければならない。

19世紀の欧米で、産業革命によって脅かされた自然環境や生活環境、歴史的文化を守ろうとして市民が立ち上がったのが、自然保護思想に実を結び、その自然に学ぶ機会を将来にわたって失われないようにするための仕掛けが国立公園という制度に

帰結した。また、領主に占有されてきた広大な土地を「歩く」権利を求めて人々が行進した、イギリスのフットパス運動などにもみられるように、アウトドアスポーツは権力者や資本家から行動の自由を勝ち取った歴史の上に成り立っている。

根底にあるのは、自然は生活の基盤であり、人々が自然の美を共有することが社会の持続性にとって不可欠なことだという価値観である。この価値観により、欧米の国立公園は人々にとって、生活の権利と地続きの関心事になっている。

しかし、日本社会では登山は流行したものの、自然保護思想は社会に深く根付かなかったことで、国立公園の自然保護システム、予算などが極めて脆弱であり、国民にとっても登山（国立公園）は普遍的な社会問題とは無縁のレジャーとしての認識が色濃く、自然をめぐる学問の層も薄い状況が続いてきた（Webサイト内「山と僕たちをめぐる話」参照）。その自然保護空白地帯で独自の発展を遂げてきたのが民間事業としての山小屋である。

日本で、多くの国立公園の日常的な維持管理を山小屋（をはじめとした民間団体）が担っているのはこのような背景に由来する。この体制があつてこそ、北アルプスでは一般に広く開かれた登山文化が成立し、観光経済としても発展してきた。

山小屋が担う公益的な業務は登山道整備、遭難救助、緊急避難場所、情報提供、行政、学術機関の活動拠点の提供など、非常に多岐に渡っている。

山小屋の抱える問題

しかし、近年山小屋の経営環境を根底から揺るがす問題が加速度的に増えており、従来の国立公園のあり方が機能しなくなる可能性が高まっている。

これは、やみくもに山小屋を守れば良いという話でもなく、国立公園、登山文化の持続可能性の観点で、全体的な構造を再構築するべき時期になつてきているということだ。

以下に山小屋を取り巻く主な問題を挙げてみたい。

・いわゆる「山小屋ヘリコプター問題」。1960年代以降、ヘリコプターは山小屋の生命線である。しかし近年、産業構造の変化などの影響で、ほぼ全ての航空会社が山小屋の物資輸送業務を縮小・撤退しつつある。10年間で倍以上の値上げが行われている上に、作業供給力の低下などが顕著で、次に山小屋が老朽化した際には、建て替えるということが採算が取れない、あるいは計画が立たない事業になる可能性が高い。現状航空会社の山小屋撤退を抑制する制度も動機付けもなく、この問題を放置すると近いうちに破綻する山小屋が続出する可能性がある（Webサイト内「登山文化の危機！山小屋ヘリコプター問題」参照）。

・建設費の高騰。建築資材、工賃などの高騰も追い打ちをかけている。建設費は10年間で1.5倍程度上がっているとも言われており、これも上述のように、山小屋の建て替えが不可能になる可能性を示している。

・人材不足。人口減少や不景気、生活観の変化（集団生活を志向しない）などによりスタッフが集まらなく

北アルプス最深部、黒部源流域の標高 2600m 付近に建つ雲ノ平山荘 (撮影：検見崎まこと)



なってきたている。時代に対応したいイメージの刷新などができていない山小屋側にも問題があることではあるが、スタッフが集まらない中で、山

小屋がこれまでのように登山道整備や遭難救助を行いつけることができるかどうか、不透明である。

・山小屋泊の登山人口の減少。キャン

プ道具の飛躍的な進化などにより、登山ブームと言われる中でも山小屋泊で登山をする人口自体は減少傾向にある。インバウンドの台頭は期待されていたものの、コロナ禍により当面伸び悩む可能性がある。すなわち、現状は収益は減少傾向である中で、急速に経営コストが上がりつつあるという。ヘリ問題や人材問題などは、単純に宿泊料金を値上げすれば解決するということでもない。

・キャンプ場のオーバーユース。近年のキャンプブームにより、キャンプ場のあり方の改革も必要性が高まっている。雲ノ平でも50張程度でいっぱいになる敷地に対し、200張を超える利用者が集中する日がシーズンに数日はある。現状は合法的に利用人数を制限する権限は誰にもなく、このままではキャンプ場の環境は悪化の一途をたどるかもしれない。

・異常気象による登山道の荒廃。場所にもよるが、近年のゲリラ豪雨や大型台風などにより、山小屋の弱体化に反比例するように登山道整備の負担は増えている。あくまでも営利事業の付帯業務として、山小屋が担ってきた多くの公益的な作業を、今後どのように安定的に担保するのか、山小屋、行政、学術関係者や登山者の垣根を取り払い、持続可能なあり方を模索するべきである。今までは、場当たりの側面が多かった登山道問題を、システムとして自律した国立公園の管理体制再構築の議論に落とし込んで行かなければならない。

総じてこれまでの山小屋は、昭和

の人口増加時代に、ある意味「放っておいても登山者があふれている」状況や潤沢なヘリコプターによる作業供給、輸送費の安さ、建設費の安さ、低賃金でもスタッフが集まったこと、などの各種状況に依存した（あぐらをかいていた）ビジネスモデルだったと言える。今、それらの条件が全て消滅しようとしている中で、業態の変化は避けられない。これに加えてダメ押しのコロナ禍、ということ。

コロナ禍の定員大幅削減により今シーズンの山小屋の売り上げは2、3割程度になる。この状況を長期間強いられるのであれば、料金を3倍にしても受け入れられるサービスの質を実現しなければ成立しないが、ほとんどの山小屋には不可能だと思われる。ただ、前向きに捉えれば、これを機に今までのように登山者をぎゅうぎゅう詰めに収容する経営方針を廃止して、値上げしつつサービスを向上し、職場環境も整えるなど、どのみち限界を迎えていた今までのビジネスモデルを刷新する機会にな

るかもしれない。

その上で、行政も包括的に現場の状況を把握し、各種問題をシステムの中で合理的に解決していくコーディネーターとしての立ち回りを強化することが強く求められている。だが、今は山小屋の業務を引き継ぐうにも、現場を知る人材がほとんどいない状況からのスタートである。

コロナ禍の向こう側

コロナ禍は議論の加速を促すものではあるが、決して独立した問題ではなく、コロナ問題に注力すれば事態が好転するわけでもない。それは、コロナで露呈された日本の政治機構の意思決定能力の低さや、著しいIT化の遅れ、あるいはグローバル経済の脆さなどにもみて取れるように、いずれは直面しなければならぬ問題が前倒しになったに過ぎない。

コロナ問題も、ヘリ問題も、登山道問題も、全ては関連しあった「登山文化・国立公園」の持続可能性の話であって、ただの山小屋の経営問

題というわけでもなく、社会全体で自然環境とどう向き合うべきかという大きな問題に接続している。日本では歴史的に自然保護世論が弱いことがそもそもの原点としてあり、国立公園予算の少なさや自然保護を担う職業、学術機関やNPOの層の薄さ、公的なシステムとしての自然保護体制が手薄な状況を、山小屋や山岳会などの「事業者・利用者側」が補ってきたが、事態は抜本的な変化の必要性を示している。

自然保護に関わる予算、人材の拡充、科学的・社会的なアプローチの強化、地域制公園としての協働体制の強化、入山料の導入など、先進国で成功している事例などを改めて積極的に導入しつつ、より踏み込んだ国立公園行政の改革に結びつけるべきだ。

コロナ禍を機に、登山者がより自立した意識のもと、文化としての登山、社会と自然環境との、より創造的な関係性の構築を志す視点を持ち、新しい世論の潮流が生まれれば、この災禍も将来への前向きな転機になるかもしれない。

原始の山をのぼる

北海道の

山と谷

第3回

殿平厚彦

札幌中央勤労者山岳会 / 道央
「山と谷作成会議」代表



くるぶしを洗う長い滑（滝の瀬十三丁）が続く

大雪山
イチオシの沢
！（初級上）

クワウンナイ川

大雪山は難しい沢は少ないが、それぞれのスケールが大きくて楽しめる。何しろ稜線上には登山道が整備されているので、心配なく遡行できるのも良い。

ここで紹介するクワウンナイ川は、沢好きの岳人にはあまりに有名な沢で、延々と続く滑を一度は遡行してみたい。沢中1泊、尾根に出て1泊の長旅となるが、最後にトムラウシ山を踏んで夏道を下山する快適な沢である。

1日目・渡渉を交じえた開けた明るく広い河原歩きである。幕営地ではオシヨロコマ（エゾイワナ）を釣って塩焼きと刺し身を楽しもう。

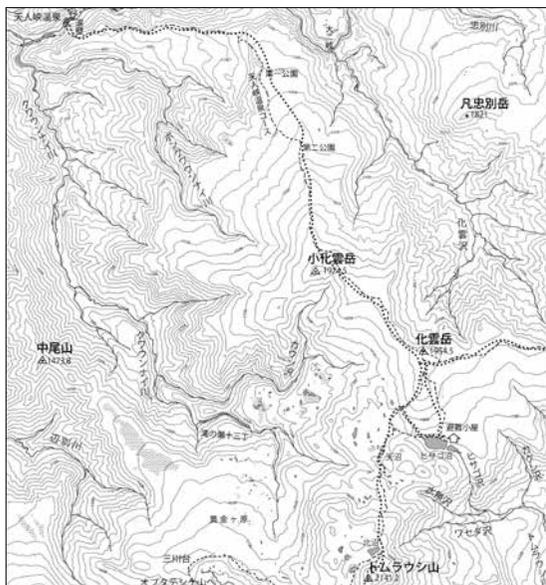
◎天人峡駐車場（1h）入渓地（6h）
970m二股カウシ沢出合C1

2日目…ここからは延々と続く名物の滝の瀬十三丁と言われる壮大な滑を遡行する。源頭部にはいくつかわたがでてくるが、巻き道は明瞭だ。主稜線に出てトムラウシ山に登り、大雪山の稜線上の素敵なヒサゴ沼の避難小屋かその脇でテント泊。

◎C1（5h）縦走路（2h）トムラウシ山（3h）ヒサゴ沼キャンプ指定地

3日目・整備された夏道を壮大なお花畑を楽しみながら入渓地の天人峡へ下山となる。

◎ヒサゴ沼キャンプ指定地（1・5h）化雲岳（5h）天人峡温泉



楽しい970m二股のキャンプ

夏尾根

十勝連峰

花の季節に歩く

花の名山「富良野岳」から百名山の「十勝岳」を経て美瑛岳に登り山中1泊で下山する、十勝連峰の見どころ満載のお勧めコースだ。6月後半から7月は高

花の山富良野岳へ



カミホロ避難小屋とカミホロカメットク山



十勝岳への縦走路

山植物の開花の時期で、残雪に混じって一齐に開く花は、それは見事の一語に尽きる。冬季には登攀の対象となるカミホロカメットク山の肩に位置する避難小屋に泊まって、ゆっくりと山を楽しもう。火山の瓦礫の積み重なった十勝岳も、この時期は素晴らしい姿を見せて

てくれる。
1日目…十勝岳温泉を出発して富良野岳を目指す。富良野岳は花の山としても有名で、7月の広大な高山植物のお花畑は見事なものだ。富良野岳から三峰山を通ってカミホロカメットク山に登り、これを越えた肩に避難小屋がある。富良野岳から各峰は高低差もあまりなく楽に歩くことができるだろう。一日目はここで泊まる。

◎十勝岳温泉(3h) 富良野岳(3h) カミホロ避難小屋
2日目…ここから2時間ほどで盟主

の最高峰十勝岳である。火山ガレキの稜線を歩くが、視界のないうときは踏み跡を見失わないように。やがて岩の積み重なる鋸岳を経て古い爆裂火口を回り込むと美瑛岳に着く。ここからは遠く大雪山、トムラウシ山も望まれる。ここから望岳台へ下山する。

◎カミホロ避難小屋(2.5h) 十勝岳(1.5h) 美瑛岳(3h) 望岳台



地図を見よう！ 道迷いの入り口、テープの誘惑

単独登山・計画通りのはずが？

日本に2000m超の山は683座あるらしい。その全山登頂を目指していた女性が遭難して死亡した。原因は、道迷いからの滑落だ。女性は吉村さつき（仮名）、67歳。明るく活発で、良き妻・優しい母であった。2000m超の山を目指するために山岳会へ入り、また、難しい山へは山岳ガイドを依頼する慎重さも持ち合わせていた。

2017年7月5日午前11時、彼女の自宅に本人から電話が入った。「今日、小金沢山（山梨県大月市と甲府市の境にある山2014m）へ登り、まだ時間があるのでこれから飛龍山へ行ってくる。今夜は将監小屋に素泊りして明朝竜喰山経由で行

く」このように話したまま行方不明になった。

今回、彼女は単独で、自ら車を運転して来ていた。当初飛龍山への登山は計画していなかったようだが、以前、飛龍山登山の情報を友人から得ていた。残されていた計画書では、「将監小屋（仮眠）↓竜喰山2011m↓大常木山1962m↓飛龍山2077m↓同日下午山」とあった。

吉村さつきは福祉関係の仕事をしていて、山仲間には「山のお金は自分で稼ぐ」と言い、一人でも車中泊や無人小屋泊を厭われない山慣れた人であった。今回は単独行で遭難したが、単独行が悪い訳ではなく、山岳会に所属していても仕事や家庭の都合で仲間と日程が合わなくて単独行になる事はよくある。また、

計画変更も間々ある事だし、吉村さつきは家族へ計画追加を連絡しているので間違っていない。

本件は当初、警察山岳救助隊が捜索したが発見に至らず、その後、民間救助隊が捜索を引き継いだ。我々は事故発生の1週間後から捜索した。将監峠から飛龍山間の危険箇所を隈なく下降し捜索したが、一向に手掛かりすら見つからない。事態が急変したのは捜索開始4日目の夕方、埼玉県秩父から溪流釣りのため井戸沢を遡行していた釣り人から「井戸沢と榎谷出合付近に遭難者がいる」と通報が入った。そこは、竜喰山から左（東）へ延びる天目尾根の末端だ。

竜喰山2011mから
間違った尾根へ

我々が警察から吉村さつきの捜索を引き継ぐ時に「当日は雨でガスが出ていたので、竜喰の山頂で迷う可能性は考えられる。

無くしたい行方不明・死亡事故シリーズ

第3回

北島英明 日本山岳救助隊代表理事



竜喰山頂はT字路となり左の天目尾根に入り込んだと想定して天目尾根を相当下降したが、痕跡なし。その後、地元民が同尾根を更に下降して二股に分かれる左右の尾根を、藪やぶに覆われる中を可能な限り搜索したが痕跡なし」との情報を得ていた。しかし、彼女は間違った尾根を実に3km近く進み、最後は行き詰まり、崖を50m程滑落して亡くなった。

竜喰山頂は樹木に囲まれ、視界はきかない。また、訪れる登山者が少ないのか、直径5m程のスペースがあるだけで、山頂看板も木の根元に置かれている寂しい場所だ。ルートは山頂T字路を右に少し下ってから南下するが、当日は雨でガスっていたので方向を間違えたのだろう。右と左を間違えるか？と思うかもしれないが、人の感覚などあてにならない。しかも山頂T字路の左側には、鮮やかに反射するテープがひらめいている。このテープを頼りに吉村さつき

は死への山行を始めてしまった。

このテープは登山者のための道標ではなく、釣り人が付けた自分だけの目印なのだ。井戸沢は、ほとんど釣り人が入らないイワナ釣りの超穴場で、その目印は途中で終わる。ある程度行くとそれ以上知られないようにするのだ。釣り人は安全な沢への降り口を知っているが、他人には分からない。まして普通の登山者には危険でしかない。

吉村さつきは竜喰山頂でコンパスさえ見れば死なずにすんだはず。しかし、雨でガスっていた上に先々までテープが続いていたので、行き詰まるまで確信していたのだろう。実際、テープを頼りに歩く登山者は多い。人がテープを付ける理由は色々ある。テープを付けるのは林業従事者・釣り人・山菜採りのため、中には間違つて付ける人もいる。テープを信じてはいけない。地図を見よう。

最後に、目的によってテープの色分けを提案したい。

＊ 労山創立60周年に寄せて ＊

吉尾弘没後20年

— 思い出してください、その功績 —



西本武志

(にしもと・たけし)

1940年6月生まれ。63年3月練馬勤労者山岳会創立。東京都勤労者山岳連盟会長、登山時報編集長、全国連盟正副理事長、副会長、会長などを歴任。

尾さんは冬期に同ルートを何度も登っています。吉尾さんの奮闘ぶりが目に浮かぶようです

2000人も会葬者

吉尾さんの遭難は、登山界と全国の山仲間にとって衝撃的でした。《まさかあの吉尾さんが

ことし2020年は、日本勤労者

山岳連盟創立60周年の記念すべき年です。新型コロナウイルスによる感

染禍が「パンデミック」（世界的大

流行）状態になりさえしなければ、

その祝賀の取り組みが盛大に繰り広げられたことでしょう。しかしコロ

ナ禍は、政府の貧弱でスローモー

な対策と体制構築の遅れの隙をついて、《第2波、第3波が確実に襲来

するだろう》と予測する専門家や研

究者が多数を占めるなど「緊急事

態宣言が解除されたとはいえ——」予断を許さない状況です。お互いに注

意を怠らず、健康に留意して過ごそ

うではありませんか。

不世出の名クライマー

元労山会長

コロナ禍の一層の拡大が危惧

されるこんな時期に大変恐縮で

すが、会員諸兄姉に、労山創立

60周年の歩みに関連する重要な

出来事で思い起こしていただき

たいことがあります。ほかでも

ありません。不世出の名クライ

マーと謳われ、労山の発展のた

めに生涯を捧げた吉尾弘（よし

おひろし）さん（元日本勤労者

山岳連盟会長）が、上越国境・

谷川岳一ノ倉沢滝沢リッジで遭

難死されてから満20年になるこ

とについてです。

谷川岳滝沢リッジで

衝撃的な遭難

吉尾さんが、2人の仲間とザ

イルを組んで滝沢リッジを登攀

中に遭難死したのは、2000

年3月13日のことでした（2人

の仲間は救助され生還）。遭難時、

吉尾さんは62歳。現役の労山会

長でした。

冬期の滝沢リッジは、一ノ倉

沢のなかでも屈指の、長大で技

術的にも困難なルートとして知

られ、生半可なクライマーには

手の出ないルートです。吉尾さ

んは終始トップに立って経験の

浅い仲間をリードしました（吉

……》の悲痛な声が広がったの

も当然の成り行きでした。新聞

やテレビも連日、事故の模様を

大々的に報道、山岳雑誌も事故

直後、特集を組むなど、その衝

撃と反響の大きさを伝えました。

わたくしにとっても、その

ショックは別格でした。立场上、

やむなく委員長を引き受けるこ

とになった葬儀（3月25日の通

夜と26日の告別式）には延べ2

000人ものが会葬者が詰めかけ、

吉尾さんとの永遠の別れを惜し

みました。

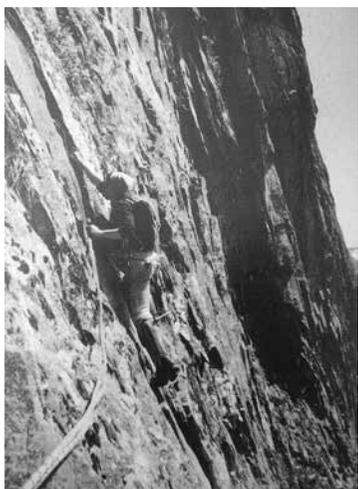
「過去の人にしてはならない」

—しかし、去る者は日に疎し—。

残念ながらここ何年も吉尾さんの名を口にする登山会員や山仲間ほとんどいなくなつてしまいました。吉尾さんの存在自体を知らない層が増えたことも原因しているのかもしれない。

没後20年も経ってしまったのですから、やむを得ない仕儀と言えなくもありませんが、なんとも寂しいかぎりです。

同2000年7月1日、わたくしは国立オリンピック青少年センターで開かれた登山主催の「故吉尾弘を偲ぶ会」で次のよ



谷川岳—倉沢衛立岩正面壁を登攀する吉尾さん（年代不詳）

うにあいさつしました。《吉尾さんは登山のみならず、この国の登山の発展に生涯を賭けて尽くしました。だからわれわれは吉尾さんを過去の人にしてはならない。死してなお生きる！——吉尾弘とは、そういう人なのです》

吉尾さんの足跡

吉尾さんの詳しいプロフィールは他にゆずりますが、1950年代末（18歳の若さで登山界にデビュー）から1990年代にかけて、積雪期の谷川岳や北岳、穂高岳、剣岳、鹿島槍ヶ岳などを舞台に登山史に残る数々の記録を刻むとともに、ヨーロッパアルプスにも足跡を残しています。78年10月、ネパール・ヒマラヤの未踏峰パビル（ガネツシュ

IV峰／7102メートル）登山隊の隊長として多くの隊員を初登頂に導いた実績も忘れられません。

吉尾さんは64年に東京登山に入会后、東京都連盟会長、日本勤労者山岳連盟副会長、理事長、会長を歴任。登山の発展に全力を尽くすにいたります。

反登山の風潮を払拭

登山にとって、吉尾さんが果たした役割の大きさは計り知れないものがあります。わたくしはとくに、以下の点を高く評価すべきだと思っています。

①「登山ごっこ」に甘んじていた草創期に、登山の何たるかを身をもって示してくれたこと。
②「勤労者」の名を冠したことを捉えて、登山を、赤い山岳団体「扱」する当時の登山界の風潮にその人柄、幅広い人脈と交友関係、飛びぬけた実績などをとおして、反登山の逆風を

払拭してくれたこと。この国の優れた登山者やクライマーの多くが登山支持派にまわってくださったのも主に吉尾さんの橋渡しがあつてこそのこと。

もし吉尾弘という傑出した人物が、登山の陣営に加わらなかつたとしたら、登山はまた別の歴史を辿ることになったに違いありません。

《登山者は真のヒューマニストたれ！》。吉尾さんの遺言です。わたくしは終生、吉尾さんの名を忘れないでしよう。



吉尾さんの著書。右から、『働くものの登山』（日本青年出版社／共著）、遺稿集『垂直の星』（本の泉社）、『垂直に挑む』（中公文庫）、処女作『垂直に挑む男』（山と溪谷社）。ほかに『岩登りの魅力』（ユニ出版）があります



登山と宿帳、赤石山脈南部それぞれの物語



前沢旅館の宿帳、どんな登山をしたのだろうか、
それぞれの物語は…

この連載の3、4、5月号で南アルプス最南部の聖、光岳周辺のエコ登山構築の事を記した。エコ登山の最先端を作り上げることは地域全体の活性化につながると信じて活動をしているが、サステイナブルという意味で「自然との共生」や「持続可能性」をテーマとするならば、幅広く地域に根差した文化や生活そのものまでも調査対象として、地域資源のストーリーマップ作成につながるのが重要と、気になることは片端から集め始めた。地元地域活性化委員会の活動する旧木沢小学校の玉石混交な登山資料の中に、古い宿帳があった。

これは、聖岳や光岳の登山口にあたる木沢村の前沢旅館のもので、昭和19年から戦後の34年ころまでの記載がある。遠山山の会で活躍してきた前会長前澤憲道さんが、大切に保管していた。地元の登山史としてたいへん価値ある記録で貴重な資料である。と言うのも、赤石岳以南の山々は、深山幽谷のため人里より距離は深く長い、さらに稜線までが密林の上登山道も小屋もない大自然の

ままでの環境だったから、入山者は稀まれで猟師ですら活動範囲は狭かったという。入山には相当な費用と体力、スキルが必要で、極めて未知の山域だった。したがって登山の歴史も浅く、多くの登山者は羨望うらやまのまなざしのみま…、本当に登山者が少ない頃の貴重なものといえる。

聖

岳周辺の登山は、1905年（明治38）の陸地測量部の三角点選標が初登頂で、

12年（明治45）に日本山岳会中村清太郎らが、19年（大正8年）に冠松次郎が西沢を初遡行、23年（大正12）地元下伊那高山植物・地質研究同好会北原寛ら研究班8人と地元教師ら3名、案内人と人夫で8名、総勢19名が池口岳から光岳、聖岳を経て赤石岳まで8月1日から6泊7日かけ調査縦走に成功している。案内人は陸地測量部の先導をした高根鶴平である。この記録は当時立派な調査研究として評価されているが、登山史には見当たらない。この隊に最年少17歳



河西瑛一郎さんと大森弘一郎さんの署名

(飯田中学4年)で参加した地元和田、後藤忠人氏が『遠山の八十八年』(1992年発行南信州新聞社)という回顧録にその興味深い子細を残している。25年(大正14)、地元上村の衆が上河内岳に神祠を安置に易老から赤石に抜ける。28年(昭和3)、慶応大山岳部の国分貫一らが積雪期の聖岳に立つ。

いずれにせよ威風堂々の品位ある山容という深田百名山の説明には程遠い、山麓から頂の見えない山々に地元は興味薄く、山岳信仰としての講登山が明治末期に一時あつたにせよ、学究の途以外、ほとんど登山を楽しむという者を見ていない地元である。

戦

前、御料林を資源として活用するため太平洋戦争の始まった昭和15年に遠山森林鉄道が起工され、木沢の貯木場を起点に、遠山川を遡り、北又渡經由で大沢岳の大沢渡、聖岳の西澤渡へとそれぞれ10キロ。全長30数キロの軌道が完成したのが、終戦間際の19年である。この軌道の開通でやっと一般登山者が増え、57年(昭和32)の静岡国体で赤石岳が日の目を見、中央構造線と共に地理地質、地勢が話題となり、夏の登山者は戦後増える。いずれにせよ森林鉄道は地元では終戦後の復興の

懸け橋になって昭和40年代末に廃止されるまで、登山者には親しまれた存在といえる。

私も今から55年近く前、66年(昭和41)15歳の年に塩見岳から池口岳まで縦走し、赤石山脈を堪能した。全テント泊7泊8日の全荷物重量40キロ以上、15歳の身には大変な思いしか残っていない。森林鉄道は健在で、自己責任で乗せてもらうことができたいい時代だった。

と

ところで宿帳の事だが、前澤旅館は林鉄と同時に開業し、登山客が増えだした44年から59年(昭和19〜34年頃)の15年間で、登山者だけで年に百人くらいが宿泊している。戦後、旧制高校や新制大学が勇躍押し寄せといっても年に数校だが、静岡、愛知、山梨、地元南信、首都圏では早稲田、立教、慶応が目立ち、当時をよく物語っている。ほとんどが聖、赤石へ向かっている。51年には西丸震哉(29)、52年の夏には日本山岳会の日高信六郎(59)、村井米子

(50)、53年晩秋には立教大山岳部佐藤他4人の中に、8年後地元飯田山岳会の隊長としてランタンヒマール・サルバチヨメの登頂者になる寺畑哲朗(19)の名がある。この年は登山者も多く明治大WVや、大阪大、地元の職場山岳会。55年には早稲田山岳部女性陣。57年3月には、驚くなかれ今でも付き合いのある慶応山岳部でヒマルチュリへ行った大森弘一郎さんの名がある。当時22歳だ。総勢7名で何人かはお目にかかったこともある。同じ年の12月26日には、これまた先輩として尊敬する河西瑛一郎さんの署名がある。残念ながら数年前に他界されたが、当時は立川高校(のち慶応へ)の2年生、同級生3名と21歳の先輩が一緒だ。翌58年には外語大の三宅修さんの名、また立教の鱈坂青青さんも。東京女子大山岳部も7名来ている。他界した河西さん、鱈坂さんは日本山岳会で理事会等いろいろ楽しかった事が思い出される。



第5回

山登りのための やさしい気象講座

気象予報士・野尻英一

山では数百キロ先の
雲が見える！

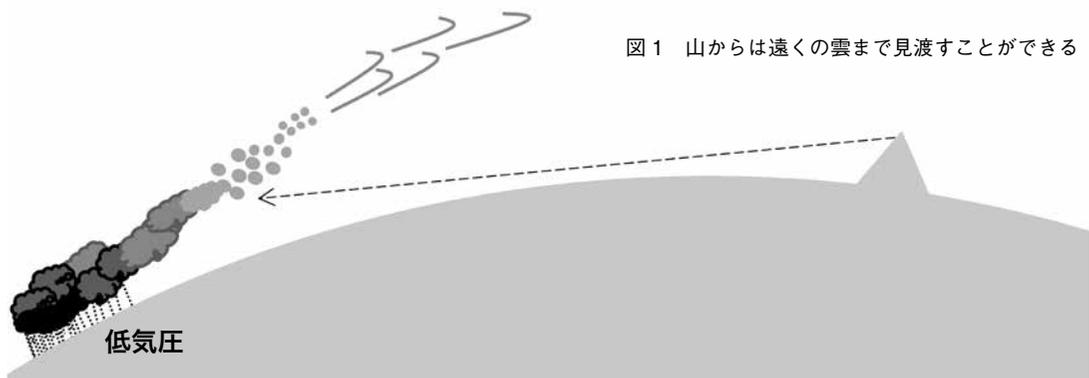
前は、雷に関連して谷から吹き上がる雲や高い空の雲の様子についての話をしたが、このように雲や空の様子から天気を予想することを観天望気と言おう。これは人類が古来から行なってきた天気予報のやり方で、「夕焼けは晴れ」「○○山に

数百年前からの 天気予報・観天望気

雲が出ると大風」のような言い伝えやことわざが世界各地に無数に残されている。近代天気予報が発達した今では観天望気の必要性は薄れたが、雲や風のひとつひとつに意味があり、そこから気象の営みを感じ取ることができたら、それは素晴らしいことではないだろうか。

観天望気では雲や風だけでなく光、音、におい、星、夜露などさまざまな手掛かりが使えるが、何と言っても空を見ることが中心だ。その点で山は遠くまで見渡せるのでも有利だ。日本付近は上空の偏西風によって天気は多くの場合は西から東に変わるが、図1のように山では西から近

図1 山からは遠くの雲まで見渡すことができる

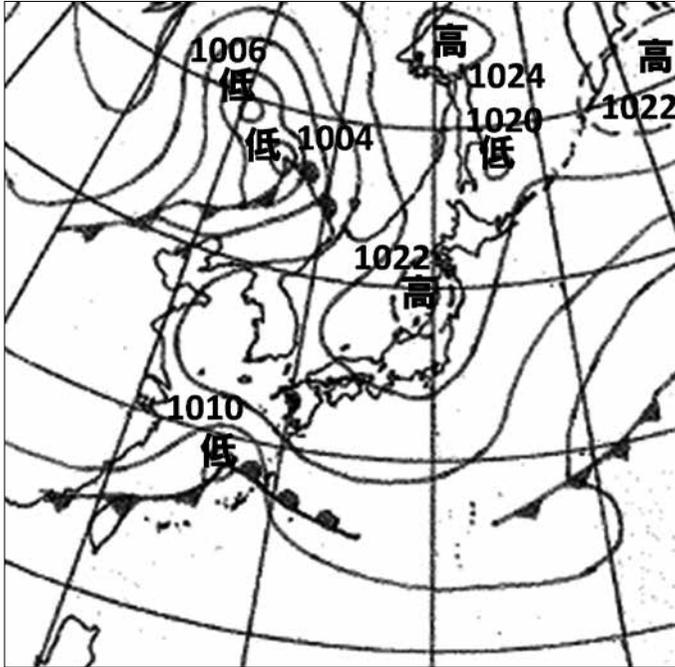


づく低気圧や前線の雲をいち早く見ることができる。雲の高さを5000mとすると標高2000mなら約400km、標高3000mでは約440kmくらいの遠い雲まで見える。もちろん遠い雲は地平線すれすれにうつすら白く見える程度だが、低気圧のスピードは時速40〜50km程度で、東進するにつれ発達することが多いので数時間後には頭上に来て雨が降り始めるかもしれないということでもある。

夕焼けは晴れか？

図2は私が八ヶ岳の赤岳山頂の小屋に泊まった10月のある日の天気図だ。その日は快晴無風の秋晴れに恵まれ夕日も美しかったが、太陽は地平線に近づいたところですっと消えた。思えばそれが近づいてくる低気圧の雲だったわけで、翌日はどんなよりした曇りになった。「夕焼けは晴れ」は誰でも知っていることわざだが、実は夕日の沈む際

図2 2000年10月7日15時の天気図



日本列島は高気圧に覆われているが、九州の南西にある低気圧が東進している。西日本は低気圧による雲が広がっており、南九州では雨が降ってきた。

まで見極めることが肝要で、地平線近くで霞か雲に消え入るようだと天気は下り坂になっていくことが多い。

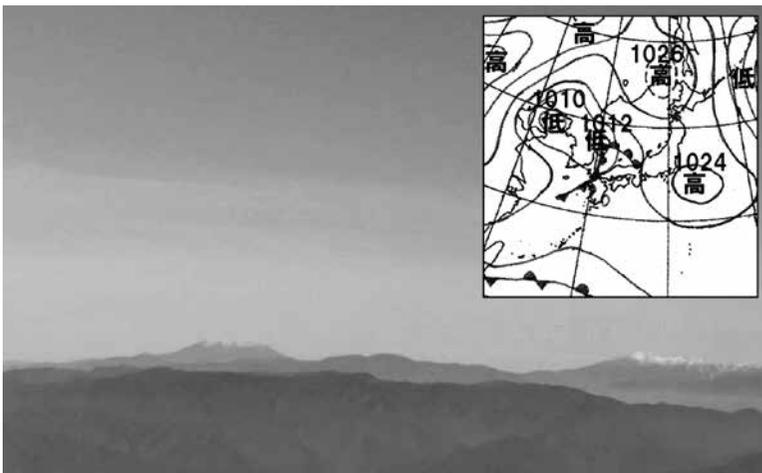
さらに付け加えれば日没後に空の明るさがなかなか消えず、高い雲が赤く輝くようなときは地平線の向こうも晴れていると

いうことで、長時間の好天継続が期待できる。実はこれと同じようなことが九州の水軍の伝承本にも記されているそうで、私たちの祖先は数百年も昔から鋭敏な観察眼と天気予報術を持っていた。

さて、日本列島は季節によっ

て天気変化の仕組みが異なるが、今回の例は低気圧と高気圧が交互にやってくる時有効で、主に春と秋だ。夏山で警戒すべきは急速に発達する積乱雲によるにわか雨や雷だが、低気圧は西の空に兆しが見えて天気が崩れるまで時間があるのに

対し積乱雲は急速な発達が特徴でしかも局地的だ。谷や麓からの霧の吹きあがりや遠い雷鳴などの兆しに注意したい。もちろん雷は夏に限らず春や秋にも起きることに也要注意だ。



高い山からは遠い雲が見える例で、浅間山から南西を遠望したところ。地平線に沿って白い雲が見える。天気図では日本海の西に低気圧が進み温暖前線が近畿地方に延びており、それに伴う雲である。このときは1時間も山頂にいたが、次第に白い雲の範囲が空の上の方に広がり、頭上を巻雲が流れるようになり、低気圧の接近を告げていた。(2012年11月5日)

北岳にある五つの山小屋の 小屋運営が面白い！

山小屋を利用する者にとって、小屋に泊まっても表面からは絶対に知ることができないそれぞれの小屋の管理人やスタッフのこと、利用者への思いや接し方などを、興味深く読んだ。そして、遭難救助にも、山小屋は欠かせない。山小屋の役割について、大いに考えさせられた。

白根御池小屋では、高妻夫妻の、若いスタッフたちへの接し方によって、彼らが立派な社会人として成長していく過程が興味深い。広河原山荘では、父を受け継いだ塩沢顕慈氏の「スタッフは自由が基本」という小屋経営や、利用者のエピソードが面白い。

北岳山荘では、猪俣健之介氏が話す小屋の歴史、隣接する北岳診療所、また、雷鳥保護や小屋を巡るトラブル解消などの話に引き込まれる。肩の小屋は、筆者が聞きだす森本茂氏の話に引き付けられる。両股小屋は、小屋番の名物女将「星美智子さん」の話が楽しく、その人柄が魅力的だ。

新型コロナウイルスにより、今後の山小屋経営に大きな課題が残ることが危惧されるが、それぞれの小屋に、一度は泊まってみたく強く思った。（花折敬司／京都明峯勤労者山岳会）

最新テクノロジーは 登山をどのように変えるか

最近のスマートフォンやインターネットの普及により、登山が様変わりしている。著者は、最近のIT技術の進歩が登山者にどのように影響し、どのような未来をもたらすのかの解明を試みている。

本書は、最近のスマートフォン・インターネットが活用されている理由として、第一に「便利さ」第二に「楽しさ」第三に「安全性」があるとしている。しかし、インターネット・スマートフォンの活用には、ひそむ「危険性」についての考察は、学ぶべき点が多い。最近の登山者は、インターネットで参加を呼びかけ、スマホ片手に山道を歩いている。このため、IT活用による遭難事例も増加し、過去とは違った遭難事例も多いと指摘している。テクノロジーへの基本的対処として、完全に信じ頼り切ってはいけないと警告を発している。

本書では、第一にテクノロジーによる登山の危険性と利便性を明らかにしている。第二に登山者をサポートするGPSアプリの解説。第三に遭難者を救うためのテクノロジーの紹介。第四に登山者がどのようにテクノロジーに向き合い活用すべきかを明らかにしている。

私たちが現在のテクノロジーにどのように正しく対処していくのかの指針を与えてくれる参考書である。

（中村好夫／西山ハイキングクラブ）



北岳山小屋物語

樋口明雄 著

山と溪谷社

¥1,400 + 税

四六判 304P

2020年1月17日刊



IT時代の山岳遭難

安全登山のための最新テクノロジー

木元康晴 著

山と溪谷社

¥800 + 税

新書判 188P

2020年3月18日刊



京都一周トレイル

京都トレイルガイド協会
竹内康之・山本時夫・湯浅誠二 著
ナカニシヤ出版
¥1,800 + 税
A5判 240P
2020年1月29日刊

5つのコースをまとめた1冊 京都トレイル

「京都トレイル」は京都に住む山家として一度は耳にするコース、一度は歩いているコースだ。今も昔もトレイルを歩く時に手にするのは「京都一周トレイル会」が発行する「京都一周トレイルコース公式ガイドマップ」である。京都トレイルは5つのコースがあるが、コース全てを1冊に仕上げたのが本書『京都一周トレイル』である。

ガイドマップは地形図を元にコース全体とトレイル標識・番号を書き入れているが、本書では5つのコースをコンパクトに1冊にまとめ上げたことにより使いやすくなっている。コースとトレイル標識・番号を記載しながら、標識から標識にかけての方位

がきめ細かく記載されており、歩きやすく書かれている。

実際、今年2月に新しく設定された「伏見・深草ルート」を歩いた後、本書を読み返すと、あの標識から次の標識にはあの方角にルートを取ったと当時のコースが目に見えてきた。京都トレイルを初めて経験する方にとっても心強い味方となる。

ガイドマップにも「利用時のマナー」が書かれているが、本書では京都特有の神社仏閣に対する心構え、コース上の住民の皆さんへの心配り、そして、京都特有のマツタケ季節での入山禁止等、きめ細かな配慮がなされている。

ただ一つ気になるのは英文との併記である。外国人と接触する機会が多いが、英語が堪能でない私にとって英文併記のガイドブックは見づらい。英文、和文それぞれに発行していただければ、安価でもっと使い良いと思った。

(山下建男／右京勤労者山岳会)



辰野勇 モンベルの原点、山の美学

辰野勇 著
平凡社
¥1500 + 税
B6判 128P
2020年3月25日刊

語りおろしの自伝 アウトドアメーカー 創業者

「わたしインドアなんで…」という人の部屋にも、mont bellは見つかる。山に行くため私が初めて買った雨具も、1日の気温差が40度あるような砂漠を旅した友人のアウトターも、mont bellだった。多くの人に使われており、mont bellの売上は600億円にのぼる。

辰野さんは28歳の時、1975年にモンベルを設立した。大阪・堺で寿司屋を営む家に育ち、高校生で登山をはじめ、目標に定めたアイガー北壁を21歳で登攀。同社ではまず繊維製品を手掛け、「自分たちの欲しいもの」をつくってきた。山登りで培った目標設定や計画立案、チームワークでの物事達成は、まさに経営そのものだという。

直営店出店、全国統一の定価、モンベルクラブなど独自の取り組みの背景、方針も、明快にテンポよく書かれている。同社の存在感は、今後ますます大きくなりそうだ。

本書は、人生の先輩にきく「のこす言葉」シリーズの一冊。

(本誌・渡辺明)

2019年7月
長野県茅野市
八子ヶ峰 (1833 m)

峻 1歳0カ月

タイム◎13:00 女神茶屋(蓼科山登山口) 登山口～13:18 ハイキングコース看板(東急トレッキングコース/ヒュッテアルピレオへの分岐)～13:30 1864.8m 三角点(ヒュッテ近く)～14:10 八子ヶ峰～15:00 八子ヶ峰公園駐車場

参考◎『山と高原地図 八ヶ岳 蓼科』(昭文社)、1/25000 地形図『蓼科山』



峻1歳0カ月、72cm、8.1kg。ベビーキャリアに乗るとこんな感じ



八子ヶ峰公園への下りで、七瀬&夫と合流。奥に白樺湖と車山の展望がひらける



天気は曇天



八子ヶ峰の三角点。寝てます

できるかな？ 行ってみよう！ 子づれ 山さんぽ[◎] やま

vol.39

武井真理 カモシカスポーツ

七瀬 2015年6月生まれ
峻 2018年7月生まれ

『山と高原地図 八ヶ岳』を眺めていると、白樺高原に、2時間程で歩けるハイキングコースを発見。ピークの名前は八子ヶ峰。しばらく2 in 1 スキー場と、白樺湖口イナルヒルススキー場は、この八子ヶ峰を切り開いてつくられています。

まだ子どもが生まれる前、八ヶ岳の標高2500mを超える峰々へ行ってた頃は、地図を眺めてもそちらばかりに目が行き、八子ヶ峰の存在に全然気づかず。子づれ山さんぽするようになってからは、以前のような登山は難しい代わりに、こういう気軽に歩ける山を探す楽しみができました。紙の地図を眺める良さってあるなあと思います。

蓼科山登山口の駐車場を女神茶屋側に渡ると、八子ヶ峰登山口。おだやかな山容、コースタイム2時間とあり、昼からではありませんが、歩くことに。夫と七瀬は、午前は別の野外活動の後、牧場へ行きたい、とのことで別行動。登山口まで車で送ってもらい、下山口の八子ヶ峰公園駐車場待ち合

わせることに。私は、ベビーキャリアで峻を背負い、ふたりでの山さんぽです。

歩き始めはヒュッテアルピレオまでは少々急登も、その後は起伏少なく、ひらけた草原の丘という感じ。ただ、笹やその他草が生い茂り、その面で若干歩きづらさのある区間も。

峻は、いつもの昼寝の時間帯に、ベビーキャリアでゆらゆら揺られたとあって、歩き始めて割とすぐ寝入って、ぼぼずっと寝ていました。この頃まだ1歳になったばかり、よく寝ます。

天気が良ければ、右手に蓼科山を望みながら歩けたのですが、あいにくこの日は曇りで、展望はいまいち。途中で別パーティー組に会い、言葉交わすも、それ以外は、峻は背中であぐさりのため私ひとりだけ黙々と歩きました。白樺湖や車山の展望がひらけてくると、ゴールは間近。八子ヶ峰公園への下りにかかるのと、先に駐車場に到着していた夫と七瀬が迎えに来てくれました。

北八ヶ岳の、別の山からの下山後の、寄り道山としてもいいかも？

- 7日 全国一斉クリーンハイク
- 8日 自然保護委員会
- 11日 遭難対策部会
- 16日 三役会議
- 同日 山筋ゴーゴー体操推進委員会
- 同日 組織部会
- 18日 登山時報編集委員会
- 23日 労山基金運営委員会
- 25日 第4回理事会

第4回理事会、討議事項

- ① 総合登山技術ハンドブックの取り扱いについて
2千冊購入。労山会員に優先的に販売。状況を見ながら労山会員以外へ販売する。定価販売で送料無料とする。
- ② 山小屋の支援について
政府に金銭的な補償を求める要望書をより多くの地方連盟からも送り、実行を迫っていく。他の支援方法についても引き続き検討する。
- ③ 「労山の60年」について
記念式典開催まで時間ができたので、より細かく確認をして正確な内容にしていく。



大山6合目付近から日本海を望む



端正な羊蹄山（蝦夷富士）



○ 労山基金運営委員会

交付申請するか否かに関わらず、
まずは事故一報を

5月の基金運営委員会に事故一報とともに問い合わせがあった。事故は昨年12月15日に起きた。

会山行で滑落して右肩を痛めたようで、その時は特に違和感を感じなかったが、翌日には右肩に鈍痛を感じ始めた。しばらく様子を見ていたが、痛みが治まらず更に痛みが増してきた。今年4月27日に整形外科を受診、右肩腱板断裂、入院手術が必要と診断された。事故者は4月に転動して会を退会した。担当者からの質問は、事故者は基金を請求する権利はありますか？というものであった。

基金運営委員会では、事故一報の提出期限は事故日より30日以内であり、この事例は期日を大幅に遅れているため、交付申請はできないことを回答した。ちなみに、事故者が交付申請時

に退会していても、事故時点に会員であり、期限内に事故一報が提出されていれば、会が交付申請することは可能である。

事故が起きたらまず、事故一報を提出し、治療、経過を見て、交付申請をする、しないは一年以内に決めればよい。

(伊藤正勝／労山基金運営委員)

○ 自然保護委員会

新型コロナ禍の自然保護を考える

新型コロナウイルスは「三密」を避けるなど日常の生活様式に変容を求めてきた。登山界にも大きく影響が及んでいる。北・南アルプスなど多くの山岳地で山小屋や登山道の閉鎖、入山自粛が広がっている。富士山は、今年は登れない。国立公園尾瀬も当面、全小屋が閉鎖している。かつてない異常な事態だ。

尾瀬では19年度の入山者数が247,700人と集計以来、最小となった。最多の96年度(平成8)647,500人の約38.3%に

なる。環境省は、原因に、相次いだ台風、豪雨などを挙げているが、根底に景気の低迷があると思う。今年はずっと下がりそうだ。

登山者減は登山道の荒廃、動植物の生態に影響する。尾瀬では二ホンシカの食害増が懸念される。新型コロナとの共生を探りながらの登山となるが、自然への影響を丹念に観察し、保全、保護の対応を提案できるような山行をめざしたい。

(野口義夫／自然保護委員、

尾瀬自然ガイド)

○ ハイキング委員会

「5/19HOK」は面白いかも

この春のコロナ禍で、登山・ハイキングをはじめとした会活動の中止を余儀なくされた会も多かったことでしょう。

ステイホームとはいっても、ずっと家の中にだけ引きこもることは苦痛です。それで私は、単独で徒歩や自転車を使い、あるいは、せいぜい10分くらい電

車に乗って、家の近辺の街中を歩き回りました。その際に、啓発されたのが、「東京スリパチ地形散歩」（洋泉社）などの皆川典久氏の本です。人気テレビ番組「ぶらタモリ」のタモリ氏も絶賛したとか。歩いてみると、街中歩きは実におもしろい。それで、この夏から、私の所属するハイキングクラブでも「ぶらOHC（大田H.C）」を定番企画としてやってみようかと、企画を練っています。

◎全国ハイキング交流集会に関するWEBアンケートにご協力ください。 <https://forms.gle/81zLpwLMveqSLvn7> にアクセスして、8月末頃までに回答をお願いします。

（石川友好／全国ハイキング委員）

○遭難対策部

事故事例集計から

過去11年間の事故一報から事故概要の集計（分析）をしました。事故件数は、3186件。

事故者数は、3327名。全国の事故一報による登山形態では、無雪期登山事故が48%、岩登り事故15%、積雪期登山13%、沢登り事故11%でした。

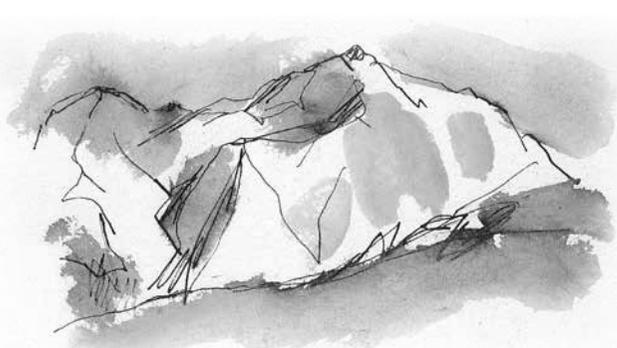
事故の様態（原因）としては、転倒が39%、体勢16%、滑落13%、墜落7%、転落6%となり、上記の様態で事故の約8割発生しています。この8割の中で、「滑って」「スリップ」したことにより発生した転倒、体勢、滑落墜落、転落が50%を占めていました。

事故一報によると、この「滑って」の要因として、「不注意だった」「よそ見をしていた」との報告も一部寄せられていましたが、「なぜ」これらの事故につながったのかは見えてきません。

今年開催される全国遭難対策担当者会議で議論を進め、事故防止に対する具体的な方策や提案を取りまとめたいと考えています。さらに、このコロナ時代の登山と安全対策をどう進めるか、大きな課題を持って新しい登山の在り方を検討します。

5月15日から6月11日までに届いた事故一報は2件2名。どちらも無雪期登山（1名が転倒、1名が首のマガニによる被害）、男性1名、女性1名。年齢は、60代1名、70代1名。

（石川昌／全国遭難対策部長）



「山カード」で遭難を防ぐ

夏山シーズンを前に長野県警、山岳救助隊などが、県内主要 50 山ごとに登山道の危険箇所、難易度を示した「信州山カード」の 20 万枚作成し登山口などでの配布をはじめた。持ちやすい名刺ほどのサイズ。力量に見合った登山をしてもらい遭難事故を防ぐのが狙い。

カードには山の写真と主要ルートと共に歩行距離や標高差を記載。「疲労や低体温症による遭難が多発」「滑落や落石による遭難に注意」といった注意事項に加え県が示す山ごとに必要な体力を 10 段階、技術を A～E の 5 段階で表記。また、地図上で距離を測れる目盛りに加え、詳しい山岳情報を記載したウェブサイトにつながる QR コードも掲載した。（長野県警ホームページより）

「信州山カード」(仮称)のイメージ



フフハハ

No.160

村松 孝一



業界の方、お願いします。



FROM EDITOR

規制緩和以降、首都圏を中心に新型コロナウイルス感染が再び拡大傾向にあるなか、山行自粛は再び起こりうるか。私事ですが今期受注していた「催事企画」がすべて中止で、やむえず新規に立ち上げた事務所を閉鎖した。（橋口）

定額給付金が先日入金された。滞納していた自動車税と所属会の会費合計 5 万支払えた。少ない年金生活者にとってはありがたいが、感染対策で消毒薬や交換用のシート、宿泊数半減など、今シーズンの山小屋は厳しい。政府の援助が不可欠。（田上）

新型コロナ・パンデミックのもとで、多くの識者が「こんな社会でいいのか」という問いかけが新聞紙上ににぎわせてる。特に「この間の感染症の多発は、人類が自然を破壊してきた結果だ」との指摘は胸に落ちる。（塩田）

府県を越えての移動解禁とともに嵐山に、どっと押し寄せてきた他府県ナンバー車。今までの辛抱・我慢・抑圧などからの発散といった現象でしょうか。徐々に開放感や慣れが重なってくると三密を避けたり、手洗いマスクがおろそかになるのではとの危惧が起つ。（小倉）

1868 年明治維新、1945 年敗戦と並び、東日本大震災は日本近・現代史の重要な転換点として位置づけられると思っただが、2011 年以降も変わらない日本。しかし今回のコロナは、変わらなければ日本が減るくらいの大変革の契機に、なるか、できるか?（鈴木）

夏至が過ぎて季節は大きく前進している。都道府県境を越えた移動自粛も様々なお店の営業制限も解除されて、多くの人が活動を始めた。テントとでも言おうか気持ち的に緩和的な明るい兆しが見えてきた。さて、夏山に向けた登山のプランでも考えよう。（今野）

登山時報

©禁無断転載

8月号 No.546 2020年7月15日発行

編集長 今野善伸
副編集長 橋口晴彦
編集 酒井正裕、田上千俊、水野奈保美
渡辺明（進行）
校正 小倉迪夫、塩田善次郎、鈴木幹雄、三浦俊俊
DTP・デザイン 来住真太

発行人 浦添嘉徳
編集人 今野善伸
発行 日本勤労者山岳連盟
〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24
TEL 03-3260-6331 メール jwaf@jwaf.jp
印刷 株式会社 ウイング・コア

中国の青いケシ 探訪記

—四川省編⑩—



メコノプシス・プシロノーマ・シノマクラータ

四川省、岷江源流部 標高 3920m



蜜標(ブロッツ)



花弁を広げると花蜂が入っている

写真・文 松永秀和

青いケシが最も栽培されているのは英国である。それにはいくつか理由がある。英国、特にスコットランドの気候が青いケシの生育に適していたこと、庭造りを最高の趣味とする英国人の志向、そして、インドを植民地とし、アジアへ進出していた大英帝国。こうした条件がそろっていたのでキングドン・ウォードを始めプラントハンターたちが持ち帰った種を種苗商が栽培・普及できたのだ。

大英帝国の基盤はエリザベス一世によって築かれた。織田信長が生まれる前年（1533年）に生を受けた彼女は、数奇な運命をたどり、イングランド女王になるが、生涯未婚であった。このためバージン・クイーンとも称される。

青いケシにもバージン・クイーンがいる。メコノプシス・プシロノーマの変種、シノマクラータである。この花は花弁を開くことがない。それでも受粉して種を作る。エリザベスに愛人がいたように、この花にも愛人がいる。花弁基部の暗紫色の蜜標で秘密の裏口を教え、そっと花弁の褥に潜り込ませるのだ。エリザベスの愛人が後に断頭台に送られたように、この愛人も運悪く花の牢獄に幽閉されることがあるようだ。

NO LIMIT

限りなき山行

19

文 近藤和美
写真 近藤圭子・和美

アマダブラム再挑戦3

21年ぶりのメラピーク(下)

11月6日、登頂活動開始。HC入りを

目指す。一昨日もそうだったが、早々と

風雪気味となった。山頂からメラ

ラに下りて来る北東稜右側のだ

だっ広い緩斜面を忍耐の登りだ。

やがて大半が雪の北東稜の中で

唯一存在する岩稜部分と等高にな

り始めると、その上端の小コル目

指して左へ大きく斜上。着いたコ

ル周辺がHCである。

カーレで予約してきた登山客に

設営済みのテントが用意され、簡

素ながらも食事も提供される。

7日、3時出発。快晴だが、私は全く歩速が上がらない。加えて強めの向かい風も登高の妨げとなった。

単調な登りが続く中、夜が明け、背後の高峰群が曙に染まる。

ようやく傾斜が緩むと、ヒンクー谷が見下ろせる背稜に出る。

行手は台形状に構える山頂部のみ。自然に台形左手に導かれ、唯一ロープが設置されているそのやや急なやせた雪稜を50mほどたどると水平な頂稜に出た(10時)。

ここはメラの中

央峰で、ここより15

m位高い北峰が隣接

するが、接近はやや

面倒でそちらを目指

す者は稀だ。

21年前のこの頂上

はテントが張れて周囲を動き回れる小広いドームだったが、今回は平坦ながらも慎重な動きが求められる細い尾根状だ。

そう言えば、あの時は台形の基部までの雪壁ももつと分厚い雪の斜面だったし、台形にも右側から接近した記憶がある。98年時は4月初頭、今回は11月初めという季節の違いもあるかも知れないが、数年単位では窺い知れない気候温暖化の兆しがここでも表れているのかも知れない。

天気は良いが高峰群は山頂に雲がかかり始めてスッキリした眺望が得られず若干残念だ。

高度差650m程に7時間もかけてようやく頂上に到達した私はかなり疲労し、HCでもう1泊かと弱気になりかける。だが余裕十分の圭子に叱咤され、

HCで軽食を摂った後、下降続

行。何とか明るいうちにカーレ

に戻った。

8日、休養日とする。帰途はザトルワラに登り返す労を嫌って、カトマンズの代理店と連絡



狭い場所にぎっしり テントが並ぶC3 (5800 m)



ただただ広くて緩やかなメラピークの北斜面。ディク・コーラの源頭氷河を成す

を取り、コテからヘリコプターのチャーター手配を依頼する。

9日、1週間を過ごしたカーレを後にする。タンナグで昼食

後、下降を続けてコテまで。10日、早朝に荷物を川原のへ



メラ中央峰（6461 m）にて。圭子にとって初の6000 m峰登頂。和美が付けているのはコロナマスクではなく、呼吸を妨げずに日焼け防止用に市販品をミニ改造したコンドーマスクです。まさかこの3ヵ月後には新型コロナウイルスが世界的に流行し始めて、ネパールも鎖国状態に入るとは！

リポートに移し、ヘリを待つ。

予約通りヘリが飛来し、操縦士のほかに我われ夫婦、ビカス、ポーター2人で定員となる。ヘリは燃料を食うザトルワラ上空越えコースは採らず、いったん下流方向に向かった後、ザトルワラから南に延びる主脈が高度を減じた辺りで尾根を飛び越す経済的へアピン航路を採り、僅か10分前後でルクラに到着。ヘリ代金は800ドルで、当然歩いて行くより割高だが、ポーター2人の2日分の日当は不要になるほか、その日数を休養に充てられるので利点も大きい。なお、高度順応の観点から往路は徒歩での峠越えが有用である。

まだ朝の7時で、今日から3日間をここで休んでゆつくりメラ登山の疲れを癒すと共に次への英気を養うこととした。

13日、3泊3日の低所での休養を終え、アマダブラムに向けて出発。いわゆるエベレスト街道のトレッキングコースで、ご存知の読者も多いと思われるの

で、簡単に述べるにとどめたい。

この日はベンカールで泊まる。14日、定番のナムチェ泊。

15日、昼飯にも早すぎる時刻にキャンジュマに着き、眺望の良さで私のお気に入りの場所なので本日はここ泊まりとする。

16日、タンボチエで加藤保男氏の慰霊碑に詣でるが土台が崩れそうだった（帰国後、JECの貫田宗男氏と会った際に伝えたが、本誌前号の大蔵喜福氏の記事で修復を知り一安心）。

15年春の大地震で壊れた鉄橋に代えて新しい橋が架かったイムジャ川（ドゥードウ川の支流）を渡ってパンボチエ泊。

17日、エベレスト街道と別れてイムジャ川を渡り、いよいよアマダブラムBCへの路に入る。

途中で、先行入山して3つのHCへの荷揚げを済ませたHAWのアシス（27）、スーザン（23）のグルン兄弟の出迎えを受ける。

前回（15年秋）はコックも雇ってキャンプ形式のBCを構えたが、今回はロッジを利用した。

地図読み 迷入

監修・村越眞
宮内佐季子
小泉成行

Lesson 134

鞍部 地図アプリを使って地形読み練習

【問題】

図1にある登山道がab間を通る鞍部を全て見つけてください。

ヒント：鞍部は、尾根上にあつて、**一**で示したような等高線パターンの中の、**■**のような場所です。

図1



【解説】

地図アプリを使ったナビゲーションのストレスを軽減するために、地図から地形をイメージする練習。2回目の今回は、鞍部（コル）。尾根歩きではピークと鞍部が順番に出てくる。ピークはもちろんよい目印だが、鞍部もよい目印である。そして鞍部は、稜線から逸れて下る道や、ピークを迂回する巻き道が分岐している分岐点になっていることも多いため、チェックポイントにする機会も多い。

今回の地図も全てアプリ「ジオグラフィカ」の画面である。スマホを脇に置いて、必要に応じて画面を拡大、縮小しながら読

んでいただきたい。

まずジオグラフィカの画面上部を左にスワイプし、図2の①のように出てくる検索窓に「139. 1135. 46」と入力して検索する。すると、画面が図1の周辺に跳ぶはずだ。

鞍部というのは、尾根が低くなっているところ。尾根道を歩いているときだと、道が下りから登りに転じる所。図3では、「い」と「は」がピークで、「ろ」が鞍部である。では、図1のどこが尾根か。それは、ジオグラフィカの画面を図4のような表示にすると分かりやすい。白っぽい色が連なっているところが尾根である。この表示にするには、ジオグラフィカの画面の左上

のアイコン（図2の②）をタップ、次に③、④、⑤（何も表示されていないところならどこでもよい）とタップしていく。

元の地図に戻すためには同様に操作して④のチェックを外す（濃い緑だったアイコンの色が薄くなればOK）。ちなみに、等高線を読み慣れてくると、図1をぱっと見ただけで図4と同程度に山の起伏を把握できるようになる。興味があれば取り組んでみてほしい。

図4を見ると、ab間はずっと尾

図2



図4



に満たないピークは描き表せないこともあるからだ。もし●の位置にピークがあれば、その両側の■の位置が鞍部になっているはずである。もちろん、●の場所にピークはなく、ほぼ平らである可能性もある。

図3

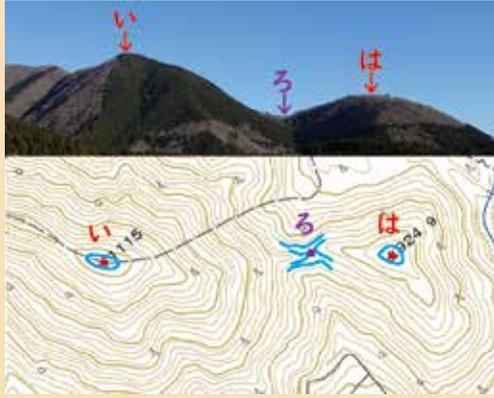


図6

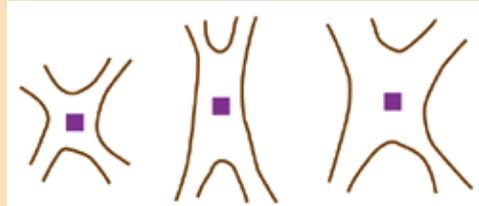
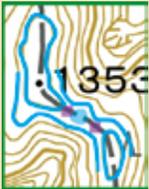


図5



図7



ピークがある場合もある。等高線の間隔は10mなので、高さが10m

根であることが分かると思う。次に、慣れるまでは、鞍部を探す前にピークを探す。よい。ピークは、図3の「い」、「は」のように等高線できると囲われている場所なので、見つけやすいからだ。図5でa b間のピークを▲で示した。a、bもピークである。鞍部は、尾根上の隣り合うピークの間1か所だけある。図1に1で示したような等高線パターンがもう少し変形して、図6のようになっていることもある。分かりにくければ地図を拡大してよく確認しよう。もう少し踏み込んで等高線を見てみよう。

このように、地図からは読み取りにくいピークや鞍部もあるので、「5つ目の鞍部で稜線から逸れて下る」というようなナビゲーションでは、「よし、ここが5つ目の鞍部だ」と思っても、実際にはだいたい手前にいるということもある。チェックポイントに到着したと思ったら、手間を惜しまずに現在地を確認することが得策だ。

山歩きで尾根を歩く機会は多いだろう。余裕のあるときには、鞍部やピークでジオグラフィカを確認してみよう。特に、歩いて「この鞍部はとでも目立つ鞍部だな」と感じたら、ジオグラフィカでどのように表現されているか見ておくと良い。そのようにして、現地の様子とジオグラフィカの表現を自分の中ですり合わせていく。そして、次の山行で似たような規模の鞍部を通るなら、その鞍部を実際に見つけられるかどうかチャレンジしてみよう。

ガイドブックにも載っていない 龍神パワーが宿る 札幌近郊の山

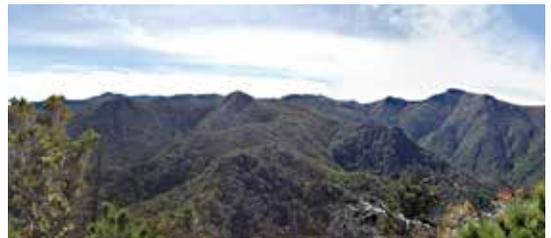
札幌ピオレ山の会／道央
鈴木暢



盤の沢山

国道230号を南下すると豊滝除雪ステーションから左側に独特の形をした山が見える。板を2枚立てて合わせた三角屋根の家のような形をした印象的な山である。数年前にナガイさんが登山道を開削し、今も笹刈りをして整備している。信号「豊滝」を左折し豊滝市民の森に向かうと迷うことなく登山口に着く。駐車場すぐに龍神様を祀っている盤龍山信行院があり湧水が出ている。龍神パワーが宿る冷たくておいしい水だ。盤龍山信行院の横から歩き始めると小さな本殿に突き当たると。登山道は、沢状の中の道を進んでいくと、次第に傾斜が増して尾根へと続いていく。藪の林を過ぎると、標高差約200mの直登で急な登りが始まる。やがて急登も終わり稜線に出ると三角点に到達し、頂上まで500mの看板がある。頂上までの細い稜線は両側がスツパリ切れているが、木が多いので滑落や高度感の恐怖は感じない。アップダウンを繰り返

り返し歩き続けると頂上に辿り着く。頂上からは展望が素晴らしい。東には目の前に札幌岳や空沼岳、西側には烏帽子岳や神威岳が間近に、遠方には手稲山が望める。下山は急な登山道を慎重に下る。登りの時には無かった熊の糞もあつた。この山は完全に熊の生息地域にあるので、しっかりとした熊対策が必要だ。当日は急登な山のためか、知られざる山の姿が自分達以外のパーティーの姿はなかった。



盤の沢山からの眺望

※写真は2枚とも開削者ナガイさんのサイトより転載。
<http://nagaijiyo.web.fc2.com/banryu-natu.html>

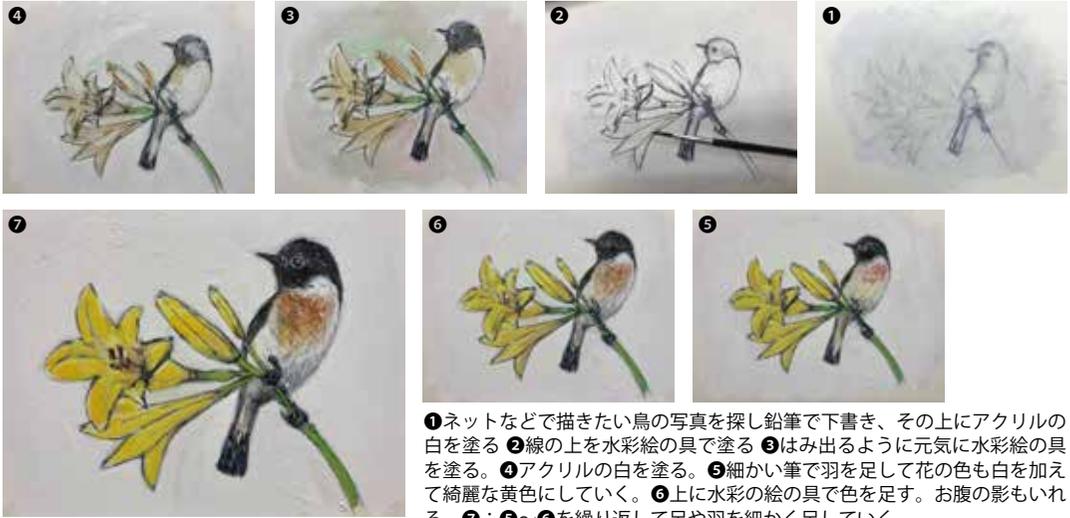


- ⌚ 3時間半 (登り2時間・下り1時間30分)
- 🚗 車＝国道230号を定山溪に向かって南下、豊滝除雪ステーションを左折
- ♨️ 小金湯 (入湯800円) 011-596-2111
- 🏠 札幌市役所・みどりの管理課・豊滝市民の森担当 011-211-2536
- 📍 定山溪
- 🕒 参考タイム 🚗 交通 🌡️ 温泉 🗨️ 問い合わせ 🗺️ 地形図

vol.91

筑井孝子の絵を千苗に描こう

鳥を丁寧に描こう



① ネットなどで描きたい鳥の写真を探し鉛筆で下書き、その上にアクリルの白を塗る ② 線の上を水彩絵の具で塗る ③ はみ出るように元気に水彩絵の具を塗る。④ アクリルの白を塗る。⑤ 細かい筆で羽を足して花の色も白を加えて綺麗な黄色にしていく。⑥ 上に水彩の絵の具で色を足す。お腹の影も入れる。⑦：⑤～⑥を繰り返して足や羽を細かく足していく

あらかると

ノルウェー最高峰

石井光造



ノルウェーの山に行ったのは、二〇〇五年の八月だった。N君に連れられて、ユータンハイム（ヨウテンハイム）国立公園の登山基地シュピッターシュツレンに着いて、先ずは地形図を仕入れた。

ユータンハイム東部・西部の五万分の一図二枚である。東部図幅のグリッターチンデン山は二四七二mと山頂に注記があった。最高峰のガルホピッケン（ガルヘビゲン）山は西部図幅にあり、二四六九mの三角点が記されていた。シュピッターシュツレンのパンフレットにはグリッターチンデン二四七〇m、ガルホピッケン二四六九mになっていた。帝国書院の地図帖では両山とも二四七〇mであった。

グリッターチンデンに登った時、八月というのに新雪が岩ごろの尾根を覆い、山頂手前で断念した（右写真）。ガルホピッケンは残雪の斜面をひたすら登り、岩の露出した頂に三角点があった。山頂直下に石積みのお店があり、さすが最高峰という思いがした（左写真）。



大事なものを、 揃っています。

「登山用品専門店」だからこそ
出来る品揃えと接客サービスで
安全快適な山行をサポート。



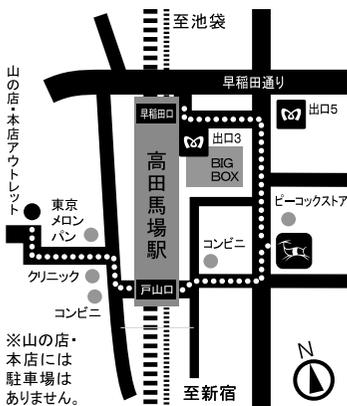
美味しいコーヒーと選りすぐりの登山用品。
山が大好きなスタッフ。カモシカのお約束。

カモシカ 通販

オンラインショップ24hrオープン!
こだわりアイテムと充実の品ぞろえをネットから!

山の店・本店

JR高田馬場駅から徒歩3分



※山の店・
本店には
駐車場は
ありません。

山の店・横浜店

JR横浜駅東口から徒歩5分



山の店・松本店

松本ICから約6km



登山用品専門店

カモシカスポーツ

OPEN 11:00 (松本店のみ10:30) CLOSE 20:00 (月~金) / 19:00 (土・日・祝)

- 山の店・本店 TEL 03-3232-1121 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-28-6・2F
- 山の店・横浜店 TEL 045-440-0711 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-6-32 横浜東口・ウィズビル1F
- 山の店・松本店 TEL 0263-48-2424 〒390-1242 長野県松本市和田4478-1

UIAA（国際山岳連盟）の 待望の日本語訳！ 登山技術スタンダード

1987年3月23日第三種郵便物認可
2020年7月15日発行（毎月15日発行）
第46巻第8号（通巻546号）

発行 日本勤労者山岳連盟

振替口座 0012008108163
口座名 労山機関誌委員会

ISBN 978-4-344-1418-7
CIN 75 40096

9784944014187

1922475020002



このハンドブックは、自らのスキルと知識を深めて活動領域を拡大したいと考えるハイカー、クライマー、登山者のためのものである。しかも国際山岳連盟傘下の山岳組織・山岳会の指導者やリーダー候補者のための参考書として編纂された本書は、主として夏季の活動に焦点を絞り、基礎知識、アルパインハイキング、クライミング、アルピニズムの四部からなっている。このハンドブックは、読者のスキルが確認された程度を確保することを目的としている。こうした程度は読者を持つ読者の編纂する正式な講習によってのみ保証され身につけられるべきである。

監修者 日本人 山岳協会 山岳クラブ 山岳連盟 山岳連盟 山岳連盟 山岳連盟

この書籍は山岳連盟の公式出版物です。UIAAの承認を受けて発行されています。




総合登山技術ハンドブック 夏季 アルパイン



総合登山技術ハンドブック 夏季 アルパイン



登山教育を優先しよう

登山の世界の境界を押し広げようとしているみなさんがリスクと適切に向き合えるようにお手伝いができることを嬉しく思っています。
みなさんが生き生きとした冒険を続けられますことを祈ります。

UIAA 2020

創立 **60** 周年
1960-2020



**日本勤労者山岳連盟
記念出版**

ベツル財団会長 ポール・ベツル

『総合登山技術ハンドブック 夏季 アルパイン』

定価 2000 円（+税）

お届け先の郵便番号・住所・氏名・電話番号・冊数を明記してお申し込みください。

振込用紙を同封しますので、届き次第の振り込みをお願いします。送料は全国連盟で負担しますので、代金は 2200 円 × 冊数になります。

地方連盟および加盟団体で 2 冊以上まとめて注文して、1 箇所へ送るようになさっていただけると助かります。

日本勤労者山岳連盟・事務局

TEL03-3260-6331 FAX03-3235-4324 メール jwaf@jwaf.jp

フリーダイヤル 0120-44-2742（平日 10～18 時）

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24

国際山岳連盟が登山の世界スタンダードとして発行している技術書が日本語に翻訳されました。発行元は（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会ですが、日本勤労者山岳連盟も全面的に協力し、翻訳者は労山国際部長・大和田英子理事です。ぜひ労山会員に広く普及してください。